
年 報

平成25年度



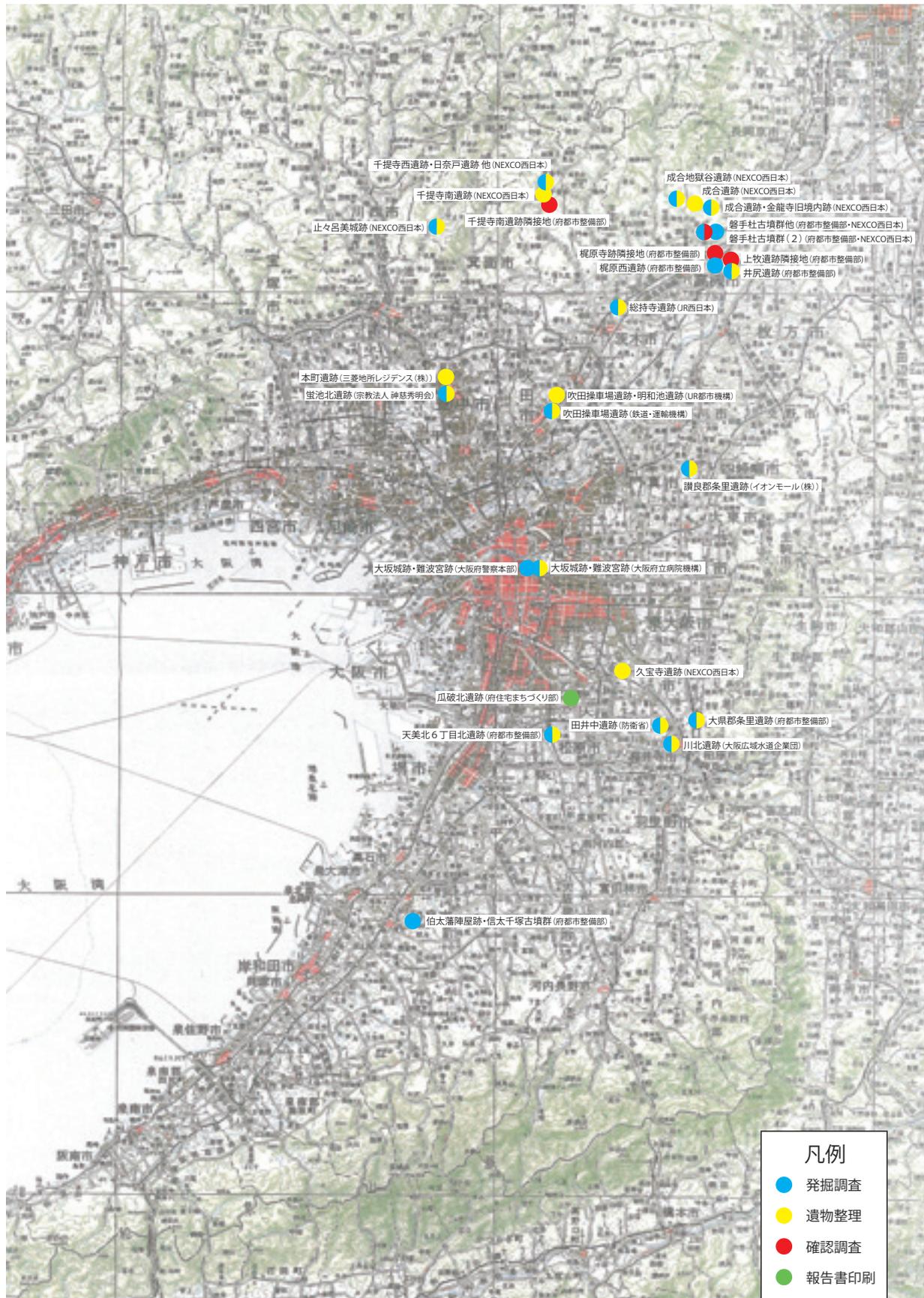
公益財団法人 大阪府文化財センター



狻猊双鸾八花鏡（成合地獄谷遺跡 土坑墓出土）



大坂城跡 13-2・難波宮跡 13-2



平成25年度調査事業実施位置図

(地図は国土地理院平成11年 8月 1日発行 1/20万 京都および大阪、和歌山を縮小した)

目 次

巻頭カラー

平成 25 年度調査事業実施位置図

I	公益財団法人大阪府文化財センター沿革と機構	1	(2) 夏季特別展「弥生人の船」関連	35
1	沿 革	1	(3) 秋季特別展「吉備と邪馬台国」関連	36
2	概 要	3	(4) 冬期企画展 摂河泉シリーズ第1弾「和泉 王の系譜」関連	36
(1)	目的	3	(5) 特別陳列「和泉黄金塚古墳と卑弥呼の鏡」	36
(2)	事業	3	(6) スポット展示	36
(3)	出資者	3	(7) 弥生博の考古学講座「My digging 弥生研究を変えた遺跡」	37
(4)	基本財産	3	(8) 弥生時代入門講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)	37
(5)	機構《施設所在地》	3	(9) 弥生博 木曜大学	37
(6)	役員・評議員及び職員	4	(10) 若き考古学徒、論壇デビュー!	38
II	平成 25 年度の理事会・評議員会の開催及び決算	6	(11) 弥生博と池上曾根遺跡にかかわった「めおと de 考古学」	38
1	理事会及び評議員会	6	(12) 弥生フェスティバル連続講演会 邪馬台国をやマトに探る「纏向と箸墓」	39
2	決算	7	(13) その他	39
III	埋蔵文化財調査事業	8	4 「府民が参加する博物館」事業	39
1	調査事業一覧	8	(1) やよいミュージアムコンサート	39
2	主な調査の概要	12	(2) ミニギャラリー	41
(1)	中部調査事務所	12	(3) 第 18 回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」	41
(2)	南部調査事務所	17	(4) ボランティア活動	42
3	他府県調査技術支援	18	5 「博物館 in school」事業－博学連携事業	42
IV	文化財資料活用事業	19	(1) 小学校の団体見学受け入れ	42
1	文化財講演会事業	19	(2) 大学・高等学校・中学校等の見学受け入れ	43
2	現地説明会等	21	(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に見説明会を実施した	44
3	文化財体験学習事業	21	(4) 体験ゾーンの活用	44
4	文化財展示事業	22	(5) 資料貸出し	44
5	文化財広報事業	22	(6) 出前授業	44
6	文化財研究事業	23	(7) 博学連携	45
7	文化財資料収集整理事業	23	6 「どこでも博物館」事業	45
(1)	文献及び文化財情報の収集・整理	23	(1) 出張展示	45
(2)	発掘調査資料の管理	23	(2) 出張体験学習	46
8	文化財資料提供事業	23	(3) 講演・講座	48
(1)	発掘資料の出品、写真・映画等の貸出	23	7 「体験する博物館」事業	48
(2)	出版物の寄贈・交換	31	(1) 体験学習・ツアー	48
(3)	図書の出版・販売	31	(2) こどもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽! 2013」	51
9	保存処理事業	32	8 広報普及事業	51
(1)	平成 25 年度保存処理事業一覧	32	(1) 弥生フェスティバル開催	51
V	大阪府立弥生文化博物館事業	33	(2) 要覧の作成	52
1	常設展示	33	(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布	52
(1)	第 1 展示室	33	(4) 常設展リーフレット作成	52
(2)	第 2 展示室	33	(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート	52
2	特展企画展事業	33	(6) 解説シート	52
(1)	春季企画展「とんぼ玉 100 人展－小さな夏の涼 現代作家のおもてなし－」	33	(7) 問合せ対応	52
(2)	夏季特別展「弥生人の船－モンゴロイドの海洋世界－」	33	(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供	52
(3)	秋季特別展「吉備と邪馬台国－靈威の継承－」	34	(9) インターネットホームページ	52
(4)	冬期企画展「摂河泉シリーズ1「和泉 王の系譜－稲作の伝来から前方後円墳の成立－」	34	9 資料貸出	52
(5)	その他展示事業	35	10 研究事業	52
3	講演会事業等	35	11 資料製作事業	53
(1)	春季企画展「とんぼ玉 100 人展」関連	35	12 サービス事業	53
(1)	アンケート調査の実施	53	(1) アンケート調査の実施	53
(2)	音声ガイド	53	(2) 音声ガイド	53
(3)	館内紹介ビデオ・DVD	53	(3) 館内紹介ビデオ・DVD	53
(4)	設備	54	(4) 設備	54
13	自主事業	54	13 自主事業	54
14	入館者数および入館料一覧表	54	14 入館者数および入館料一覧表	54
VI	大阪府立近つ飛鳥博物館事業	56	1 常設展示	56
1	常設展示	56	2 特別展企画展事業	56
2	特別展企画展事業	56	(1) 春季特別展「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」	56
(1)	春季特別展「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」	56		

(2) 夏季企画展「さまざまなお墓-墳墓のうつりかわり-	57	(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施	70
(3) 秋季特別展「考古学からみた推古朝」	59	(3) 博物館グッズの販売、開発	70
(4) 冬季特別展「歴史発掘 おおさか 2013-大阪府発掘調査最新情報-	58	(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修	70
3. 「市町村と連携する博物館」事業	59	(5) 設備の更新	70
(1) 連携展示事業	59	1 3. 入館者数及び入館料一覧表	71
(2) スポット展示	60		
(3) 広報の強化	60		
4 「府民が参加する博物館」事業	60	VII 日本民家集落博物館事業	73
(1) 近つ飛鳥常設展示解説(入門講座)・土曜講座(オーサカ発 調査研究最前線)	60	1. 展示事業	73
(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」	61	(1) 常設展示	73
(3) 古墳の森コンサート	61	(2) 市民展示	73
(4) 博物館バックヤード探検ツアー	61	(3) 文化庁補助事業に関わる展示	74
(5) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー	62	(4) 企画展示	74
(6) 近つ飛鳥ギャラリー	62	2. 各種催し開催事業	74
(7) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援	62	(1) 季節行事	75
5. 「博物館 in school」事業-博学連携事業	62	(2) 参加体験型事業	75
(1) 出前授業	62	(3) 展示民家を活用しての催し	76
(2) 学校団体利用案内の作成	63	(4) 特別企画事業	77
(3) 学習用ワークシートの作成	63	3. 普及啓発事業	77
(4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習	63	(1) 民家解説等の開催	77
(5) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習	63	(2) 囲炉裏体験	78
(6) 教員の研修、研究団体の受け入れ	64	(3) 連続講座	78
(7) 一日館長の選定	64	(4) 関連講座	78
(8) 地元大学との連携	64	(5) 民俗芸能公演 「椎葉神楽」	78
(9) 2013 夏休み児童はにわ展	64	(6) グリーンロハスフェスタ	79
6. 「どこでも博物館」事業	64	(7) 北大阪ミュージアムメッセ	79
(1) れきしウォーク	64	(8) 大学連携ワークショップ	79
(2) 出張講座	64	(9) ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」	79
(3) 出張展示	66	4. 学校教育連携事業	79
(4) 地元市町村との連携	66	(1) 大学博物館実習	79
(5) ホームページの充実	66	(2) 中学生の職場体験学習	79
7. 「体験する博物館」事業	66	(3) こども囲碁クラブ	80
(1) 校外学習受け入れ・体験学習	66	(4) みんな伝統文化体験教室	80
(2) 子ども工作室	66	(5) むかしのくらし体験学習	80
(3) こども勾玉つくり工房	67	(6) みんな子ども絵画教室	80
(4) 古代衣裳着用体験	67	(7) 豊中マチカネ先生塾	80
(5) こどもファーストデイ	67	5. ボランティア受入活動事業	80
8. 企業との連携事業	68	6. 施設整備事業	80
(1) 展示・広報・イベント等での協働	68	(1) 大阪府指定有形文化財旧藤原家住宅(南部の曲家)保存修理工事	80
(2) 遺跡見学ツアー	68	(2) 国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事	81
9. 広報普及研究事業	68	(3) 園路等の補修	81
(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森(博物館だより)の発行	68	(4) 危険木の伐採	81
(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行	68	7. 広報事業	81
(3) 催し物案内の作成	68	(1) 広報リーフレットの作成	81
(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等	68	(2) 外国人向けDVD及びパンフレットの作成	81
(5) 広報の強化	68	(3) インターネットによる広報	81
(6) 出版事業	68	(4) DVD・ビデオによる広報	82
10. 研究事業	69	(5) 諸団体との連携	82
(1) 他博物館などと連携した研究活動	69	(6) 資料の作成・頒布	82
(2) 国内・海外の研究者との学術交流	69	8. 資料収集・研究事業	82
(3) 研究成果の発表	69	9. その他	82
(4) 客員学芸員の任命	69	10. 入館者数及び入館料収入一覧表	83
1 1. 資料調査収集製作事業	69		
(1) 図書購入	69		
(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理	70		
1 2. サービス事業	70		
(1) 特別開館日の設定	70		
		事業所一覧	

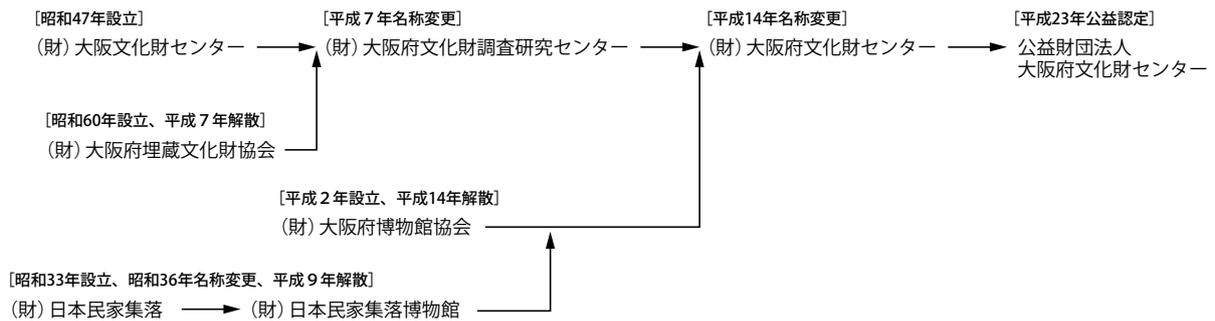
I 公益財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1 沿革

1970年代、高度経済成長によって急速に開発行為が増大、これに伴い自然環境や歴史的景観が大きく変貌することとなった。このようななか、大規模開発に伴う発掘調査に対応し、文化財を後世に伝えることを目的として、当財団は昭和47年11月、財団法人大阪文化財センターとしてその産声をあげた。

爾来、大阪府の埋蔵文化財行政の一翼を担い、埋蔵文化財の発掘調査のみならず様々な事業を展開し、現在までに40年の道のりを歩んできた。その間、平成7年には関西国際空港建設事業に関連して設立された財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターに名称変更、さらに平成14年、財団法人大阪府博物館協会と統合し、新たに財団法人大阪府文化財センターとなった。

そして、平成23年4月、当財団は文化財の調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発をより一層推進するために公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターとして新たなスタートを切った。



昭和 47 . 11 . 28	・ 大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48 . 1 . 10	・ 事務所を大阪市東区大手前之町 5-1 番地大阪府庁分館 1 号館内に設置。職員 3 名により事務、普及啓発、遺物整理、分布試掘調査を分担。 第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48 . 4 . 1	・ 事務局を設置（職員数 12 名）。
48 . 5 . 25	・ 第 1 回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
48 . 9 . 1	・ 事務所を大阪府庁分館 3 号館内に移転。
51 . 7 . 26	・ 近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
51 . 9 . 7	・ 事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 10 番 28 号大阪府城東庁舎内に移転。
55 . 8 . 19	・ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57 . 11 . 27	・ 財団法人大阪文化財センター設立 10 周年記念式典を開催。
58 . 9 . 1	・ 近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59 . 6 . 1	・ 都市計画道路と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61 . 2 . 28	・ 近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
～ 3 . 4	
平成 元 . 4 . 1	・ 都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。 ・ 大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。
2 . 4 . 1	・ 大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
2 . 9 . 1	・ 財団法人大阪府博物館協会設立。

	3 . 3 . 1	・ 大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
	4 . 11 . 27	・ 財団法人大阪文化財センター設立 20 周年記念式典を開催。
平成	7 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。 ・ 本部事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 11 番 3 号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江 1 丁目 17 番 34 号に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。 ・ 組織の改正により、総務部、調査部の 2 部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の 3 調査事務所を置く。
	7 . 10 . 3	・ 史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
	7 . 12 . 15	・ 南部調査事務所を堺市熊野町西 1 丁 2 番 22 号に移転。
	8 . 6 . 6	・ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会の会長に選任される。
	8 . 9 . 30	・ 北部調査事務所を箕面市今宮 3 丁目 19 番 2 号に移転。
	9 . 2 . 12	・ 泉佐野収蔵庫竣工。
	9 . 3 . 31	・ 泉ヶ丘資料室（堺市竹城台 3 丁 21 番 4 号）竣工。
	10 . 1 . 12	・ 南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里 3 丁目 1 番 13 号に開設。
	10 . 3 . 31	・ 南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
	12 . 8 . 21	・ 本部事務所を 堺市竹城台 3 丁 21 番 4 号に移転する。
	13 . 2 . 1	・ 南部調査事務所を 堺市南田出井町 1 丁 1 番 10 号に移転する。
	13 . 10 . 31	・ 泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
	14 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。 ・ 組織の改正により、総務部、調査部、普及部の 3 部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の 3 博物館部を置く。 ・ 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
	14 . 11 . 1	・ 泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
	15 . 3 . 31	・ 北部調査事務所を閉鎖。
	15 . 4 . 1	・ 第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝 1 丁目 1 番 15 号に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘 1 丁目 2 に開設。
	16 . 4 . 1	・ 京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
	18 . 1 . 31	・ 泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西 2 丁目に竣工。
	18 . 4 . 1	・ 大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。
	19 . 4 . 1	・ 京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田 2 丁目 5 番 32 号に開設。
	20 . 4 . 1	・ 組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
	20 . 7 . 31	・ 京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
	21 . 3 . 31	・ 京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。
	21 . 4 . 1	・ 組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務企画グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く（各調査事務所、分室、支所は施設名とする）。本部事務所に南部調査事務所を併設。
	21 . 5 . 31	・ 古市分室を閉鎖。
	23 . 3 . 31	・ 京阪調査事務所を閉鎖。
	23 . 4 . 1	・ 大阪府より公益認定を受け、「公益財団法人 大阪府文化財センター」に名称変更。
	23 . 3 . 29	・ 池島支所を閉鎖。
	25 . 4 . 1	・ 組織の改正により、総務企画部、調査部を廃止し、総務企画課、調整課、調査課の 3 課制とする。

2 概要

(1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用をおこない、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

(2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業をおこなう

- ① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤ 文化財の普及啓発
- ⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

(3) 出資者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、パナソニック株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産

116,700千円

(5) 機構《施設所在地》

本部事務所	堺市南区竹城台3丁21番4号
中部調査事務所・資料室	東大阪市長田東1丁目9番16号
南部調査事務所	堺市南区竹城台3丁21番4号
高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町1丁目地先
泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷(地内)
泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西2丁目2430-1
大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町4丁目8番27号
大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山299番地
日本民家集落博物館	豊中市服部緑地1番2号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成26年3月31日 現在)

役 職	氏 名	現 職
理 事 長	田邊 征夫	公益財団法人 大阪府文化財センター 理事長
専務理事	秋山 芳廣	公益財団法人 大阪府文化財センター 事務局長
理 事	荒井 大作	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
	井藤 徹	日本民家集落博物館 館長
	今井 渉	公益財団法人 サントリー文化財団 専務理事
	岡崎 尚喜	堺市文化観光局 文化部長
	興津 厚志	大阪商工会議所人材開発部 次長 大阪企業家ミュージアム事務局長
	黒崎 直	大阪府立弥生文化博物館 館長
	坂井 秀弥	奈良大学 教授
	白石 太郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
監 事	福永 伸哉	大阪大学 教授
	鳴澤 成泰	行政書士
顧 問	真川 正満	公認会計士・税理士
	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評議員

(平成26年3月31日 現在)

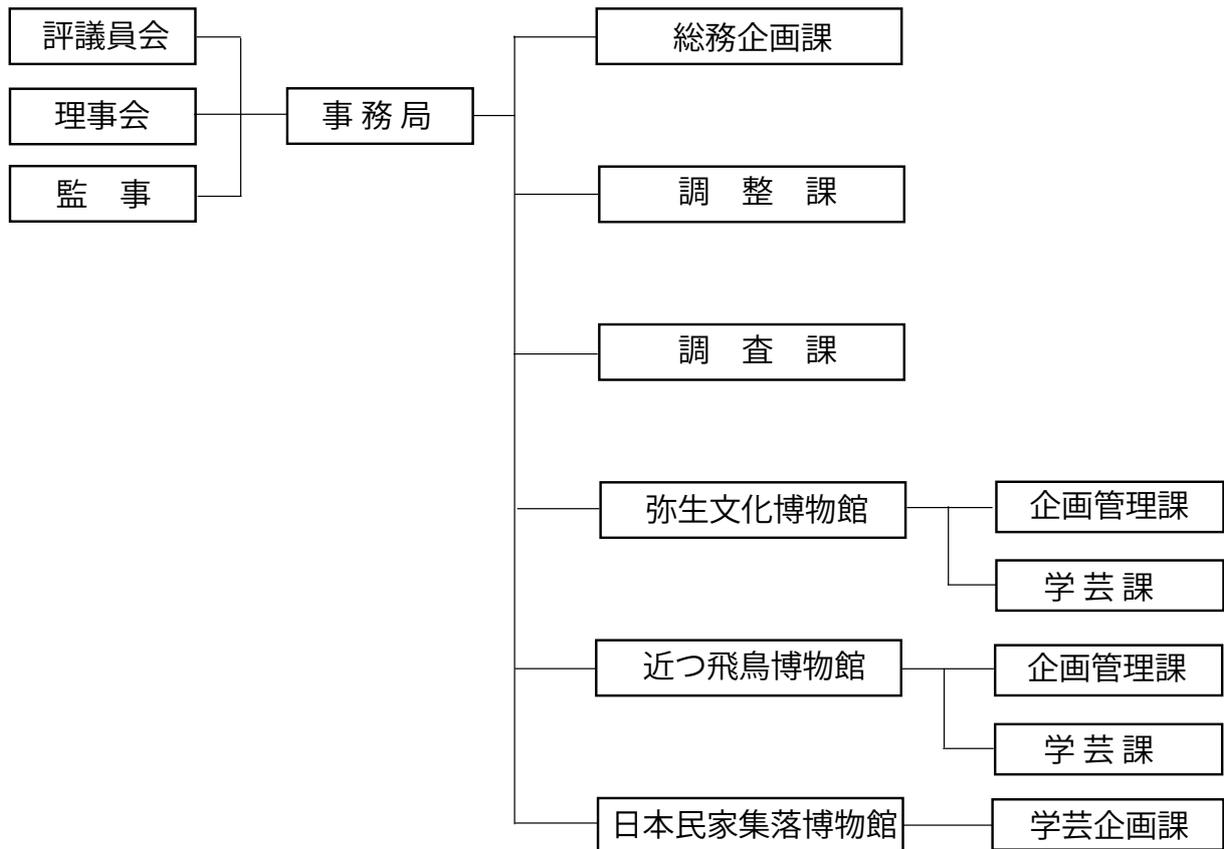
氏 名	現 職
池田 良治	池田良治法律事務所 弁護士
首藤 修一	大阪府都市教育長協議会 代表 (守口市教育委員会 教育長)
須藤 健一	国立民族学博物館 館長
高井 道弘	住吉大社 宮司
西野 裕久	有限責任あずさ監査法人 パートナー・公認会計士 監査第二事業部第一グループ長
西牧 研壯	大阪府町村教育長会 会長 (熊取町教育委員会 教育長)
松村 恵司	奈良文化財研究所 所長
水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
南谷 恵敬	和宗総本山 四天王寺 執事 法務部長兼勸学部長

c 職 員

(平成26年3月31日 現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
専務理事兼事務局長	秋山 芳廣	調査第二課長補佐	市本 芳三
事務局次長兼総務企画課長	江浦 洋	主 査	森屋 美佐子
主 査	宮本 哲男	主 査	陣内 暢子
副主査	栗山 さよ子	主 査	駒井 正明
副主査	小島 久美	主 査	後藤 信義
副主査	島谷 美穂	主 査	井上 智博
主 事	新田 康博	副主査	奥村 茂輝
嘱 託	酒井 則和	副主査	島崎 久恵
調整課長	岡本 茂史	副主査	黒須 亜希子
副主査	田淵 紀江	副主査	後川 恵太郎
副主査	竹内 秀喜	副主査	鹿野 塁
副主査	永野 仁	技 師	新海 正博
主査	三好 孝一	専門調査員	小野 久隆
副主査	廣瀬 時習	弥生文化博物館副館長兼学芸課長	秋山 浩三
主 査	佐伯 博光	企画管理課長	中川 隆雄
副主査	本間 元樹	広報企画主任	宮城 芳典
副主査	正岡 大実	総括学芸員	中尾 智行
主 査	中村 淳磯	総括学芸員	塚本 浩司
技 師	福佐 美智子	教育専門員	山本 清
調査課長	岡戸 哲紀	学芸員	角南 なつみ
専門調査員	片山 彰一	学芸員	柴田 妃三光
専門調査員	山口 誠治	学芸員	佐藤 直紀
調査第一課長補佐	金光 正裕	近つ飛鳥博物館副館長	西村 歩
主 査	合田 幸美	企画管理課長	川中 秀樹
主 査	亀井 聡	広報企画主任	神野由希絵
副主査	三宮 昌弘	学芸課長	森本 徹
副主査	岡本 圭司	総括学芸員	市村 慎太郎
副主査	川瀬 貴子	教育専門員	加藤 三郎
副主査	若林 幸子	学芸員	飯田 浩光
副主査	伊藤 武	学芸員	関本 優美子
副主査	信田 真美世	学芸員	鈴 千夏
技 師	笹栗 拓	学芸企画課長	山城 統
技 師	河本 純一	総括学芸員	小島 久美
専門調査員	松本 吉弘		

d 機 構



II 平成 25 年度の理事会・評議員会の開催及び決算

1 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成 25 年 6 月 5 日	第 1 回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1 階講義室	1. 平成 2 4 年度事業報告及び収支決算について 2. 定時評議員会の招集事項について
平成 25 年 6 月 24 日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1 階講義室	1. 平成 2 4 年度事業報告及び収支決算について 2. 理事、監事の選任について 3. 評議員の選任について 4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
平成 25 年 11 月 29 日	第 2 回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1 階講義室	1. 平成 2 5 年度 事業の進捗について 2. 平成 2 5 年度 補正予算書 (案) について
平成 26 年 3 月 25 日	第 3 回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1 階講義室	1. 平成 2 5 年度第二次補正予算書 (案) について 2. 平成 2 6 年度事業計画書 (案) 及び収支予算書 (案) について

2 決 算

資金収支計算書 総括表
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	1,929,818	0	0	1,929,818
②特定資産運用収入	20,524,393	0	0	20,524,393
③会計収入	2,735,000	0	0	2,735,000
④事業収入	954,664,970	21,307,223		975,972,193
⑤補助金等収入	22,039,000	0	0	22,039,000
⑥寄付金収入	930,560	0	0	930,560
⑦雑収入	8,926,739	0	0	8,926,739
⑧他会計からの繰越金収入	1,221,713	0	△ 1,221,713	0
事業活動収入計	1,012,972,193	21,307,223	△ 1,221,713	1,033,057,703
2. 事業活動支出				
①事業費支出	1,017,586,626	0	0	1,017,586,626
②管理費支出	0	20,085,510	0	20,085,510
③他会計への繰越金支出	0	1,221,713	△ 1,221,713	0
事業活動支出計	1,017,586,626	21,307,223	△ 1,221,713	1,037,672,136
事業活動収支差額	△ 4,614,433	0	0	△ 4,614,433
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	104,233,704	0	0	104,233,704
投資活動収入計	104,233,704	0	0	104,233,704
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	46,777,737	0	0	46,777,737
②固定資産取得支出	17,210,700	0	0	17,210,700
投資活動支出計	63,988,437	0	0	63,988,437
投資活動収支差額	△ 40,245,267	0	0	△ 40,245,267
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出				
当期収支差額	35,630,834	0	0	35,630,834
前期繰越収支差額	31,879,916	0	0	31,879,916
次期繰越収支差額	67,510,750	0	0	67,510,750

III 埋蔵文化財調査事業

1 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を、事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種類
中部調査事務所	1	成合遺跡 金龍寺旧境内跡 [整理]	高槻市成合地 内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（高槻市域）	成合遺跡 11-1 金龍寺旧境内跡 11-2・12-2	—	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	2	成合地獄谷遺跡 成合遺跡 金龍寺旧境内跡 [調査]	高槻市成合地 内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（高槻市域）その5	成合地獄谷遺跡 13-1 成合遺跡 13-1 金龍寺旧境内跡 13-1	○事業者発注 □成合地獄谷遺跡発掘調査に伴う航空測量		
	3	磐手杜古墳群 磐手杜古墳群隣接地 [確認・試掘]	高槻市安満御 所の町・下地 内	近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称高槻東道路）事業との同時施行に伴う埋蔵文化財調査	磐手杜古墳群 13-1	○事業者発注 □磐手杜古墳群他発掘調査に伴う基準点測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所 西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	4	磐手杜古墳群 [調査]	高槻市下地内	近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称高槻東道路）事業との同時施行に伴う埋蔵文化財調査（その2）	磐手杜古墳群 13-2	○事業者発注 □磐手杜古墳群（その2）発掘調査に伴う航空測量		
	5	上牧遺跡隣接地 [試掘]	高槻市井尻1・ 2丁目・道鶴 町6丁目地内	一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託	上牧遺跡隣接地 13-1	○上牧遺跡隣接地発掘調査に伴う工事 □上牧遺跡隣接地発掘調査に伴う基準点測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	6	井尻遺跡 [調査]	高槻市井尻1 丁目地内	一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託（その1）	井尻遺跡 13-1	○事業者発注 □井尻遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	7	梶原寺跡隣接地 [試掘]	高槻市梶原1・ 5・6丁目・ 萩之庄2丁目 地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路 梶原工区）建設並びに主要地方道西京高槻線B P道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託	梶原寺跡隣接地 13-1	○事業者発注 □梶原寺跡隣接地発掘調査に伴う基準点測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	8	梶原西遺跡 [調査]	高槻市梶原5・ 6丁目地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路 梶原工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託	梶原西遺跡 13-1	○事業者発注 □梶原西遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	9	千提寺西遺跡 日奈戸遺跡 千提寺市阪遺跡 千提寺クス山遺跡 [調査]	茨木市千提寺 地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（茨木市域）その5	千提寺西遺跡 12-1 日奈戸遺跡 12-1 千提寺市阪遺跡 12-1 千提寺クス山遺跡 12-1	○事業者発注 □千提寺西遺跡（その2）・日奈戸遺跡他発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	10	千提寺西遺跡 日奈戸遺跡 千提寺市阪遺跡 千提寺クス山遺跡 [整理]		高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（千提寺西他）	千提寺西遺跡 11-1・12-1 日奈戸遺跡 12-1 千提寺市阪遺跡 12-1 千提寺クス山遺跡 12-1	—		
	11	千提寺南遺跡 [調査・整理]	茨木市千提寺 地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（千提寺南）	千提寺南遺跡 11-1	○事業者発注 □事業者発注 ●千提寺南遺跡	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
H25.2.1 ～ H26.10.31	41,501,000	—	弥生～古代 集落・生産・墓域	竪穴建物・古墳・窯跡・土坑・溝・段状遺構 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶器・石器 ・石造物・鉄器	伊藤 武拓 笹栗	平成 24 ～ 26 年度
H25.6.3 ～ H26.12.26	28,946,000	3,730	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・古墳・土坑墓・土坑・ピット・溝 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・灰釉陶器・小玉・腰帯具・唐式鏡・銭貨・鉄釘・ガラス玉	金光 正裕 三宮 昌弘 河本 純一 松本 吉弘	平成 25 ～ 26 年度
H25.11.1 ～ H26.1.24	1,443,525 1,595,475	140	古墳・古代 墓域	石組・溝・落ち込み 土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器	河本 純一	
H26.2.3 ～ H26.4.25	1,218,900 2,844,100	245	弥生～中世 墓域	石組 弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石製品か	金光 正裕 松本 吉弘	平成 25 ～ 26 年度
H25.3.11 ～ H25.6.20	5,958,000	105	中世 集落・生産	土坑・ピット・水田・溝 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・銭貨	三宮 昌弘	
H25.10.8 ～ H26.6.30	17,879,000	1,754	弥生～中世 集落・生産	掘立柱建物・流路・井戸・土坑墓・土坑・ピット・溝・落ち込み・杭列 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器	岡本 圭司 三宮 昌弘	平成 25 ～ 26 年度
H25.4.1 ～ H25.7.19	5,628,000	80	弥生～中世 集落・生産	流路・土坑・ピット・溝 弥生土器・土師器	奥村 茂輝	
H26.1.6 ～ H26.8.25	13,127,000	2,798	弥生～中世 集落・生産・墓域	掘立柱建物・方形周溝墓・井戸・土坑・ピット・溝 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・石器	川瀬 貴子 信田真美世 河本 純一	平成 25 ～ 26 年度
H24.5.1 ～ H25.8.20	99,710,000	20,604	縄文～近世 集落・生産・墓域	掘立柱建物・墓・土坑・焼土坑・ピット・溝・棚田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶磁器・石器・石造物・木製品・鉄製品・ガラス製品・銭貨	亀井 聡 森屋美佐子 中村 淳磯 合田 幸美 若林 幸子 永野 仁 入江 正則 小野 久隆	平成 24 ～ 25 年度
H24.5.1 ～ H25.8.20	44,391,000	—			亀井 聡 合田 幸美 若林 幸子	平成 25 ～ 27 年度
H25.3.1 ～ H26.3.31	17,986,000	1,066	縄文～中世 集落・生産	土坑・溝・水田・石列 縄文土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石器・石製品・銭貨	川瀬 貴子	

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種類
中部調査事務所	12	千提寺南遺跡隣接地 [試掘]	茨木市千提寺 地内	主要地方道茨木摂津線（(都)大岩 線）道路築造事業に伴う埋蔵文化 財調査業務委託	千提寺南遺跡隣接 地 13-1	○事業者発注 □千提寺南遺跡隣接地 発掘調査に伴う基準 点測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	13	総持寺遺跡 [調査・整理]	茨木市西河原 1丁目地内	摂津富田・茨木間新駅設置工事に 伴う総持寺遺跡の埋蔵文化財発掘 調査	総持寺遺跡 13-1	○事業者発注 □総持寺遺跡（新駅設 置）発掘調査に伴う 航空測量	西日本旅客鉄道株 式会社	新駅設置
	14	止々呂美城跡 [調査]	箕面市下止々 呂美地内	高速自動車国道近畿自動車道名古 屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化 財発掘調査（箕面市域）その2	止々呂美城跡 09-1	○止々呂美城跡発掘調 査に伴う工事 □止々呂美城跡発掘調 査に伴う航空測量	西日本高速道路株 式会社関西支社	道路建設
	15	止々呂美城跡 [整理]		高速自動車国道近畿自動車道名古 屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化 財発掘調査遺物整理（箕面市域）		●止々呂美城跡		
	16	吹田操車場遺跡 明和池遺跡 [整理]	吹田市芝田町 地内 摂津市千里丘 4丁目・7丁 目地内	吹田操車場跡地地区 平成 25 年 度埋蔵文化財遺物整理業務	吹田操車場遺 跡 09-3・10-2・ 11-1・12-1 明和池遺跡 10-1・ 11-1・12-1	—	独立行政法人都市 再生機構西日本支 社	土地区画整理
	17	吹田操車場遺跡 [調査・整理]	吹田市芝田町 地先	吹田（信）基盤整備工事（墓地造 成工事）に伴う吹田操車場遺跡発 掘調査 13	吹田操車場遺跡 13-1	○事業者発注 □吹田操車場遺跡（墓 地造成）発掘調査に 伴う航空測量 ●吹田操車場遺跡 9	独立行政法人鉄道 建設・運輸施設整 備支援機構国鉄清 算事業西日本支社	吹田（信）基 盤整備工事
	18	本町遺跡 [整理]	豊中市本町 1 丁目 165-4	本町遺跡第 40 次発掘調査	本町遺跡 12-1	●本町遺跡	三菱地所レジデ ンス株式会社	共同住宅建設
	19	蛭池北遺跡 [調査・整理]	豊中市蛭池北 町 1 丁目 48	蛭池北遺跡第 25 次発掘調査	蛭池北遺跡 13-1	○事業者発注 □事業者発注 ●蛭池北遺跡	宗教法人神慈秀明 会	教会建築
	20	讃良郡糸里遺跡 [調査・整理]	四條畷市砂地 内 寝屋川市新家 2 丁目・讃良 東町地内	（仮称）イオンモール四條畷建設に 係る埋蔵文化財発掘調査	讃良郡糸里遺跡 11-1・13-1	○事業者発注 □事業者発注	イオンモール株 式会社	大型店舗建設
	21	大坂城跡 難波宮跡 [調査]	大阪市中央区 大手前 3 丁目 地内	大手前立体駐車場建設工事に伴う 大坂城跡発掘調査	大坂城跡 13-1 難波宮跡 13-1	○大坂城跡発掘調査 （立体駐車場）に伴 う工事 □大坂城跡発掘調査 （立体駐車場）に伴 う航空測量	大阪府警察本部	立体駐車場建設
	22	大坂城跡 難波宮跡 [調査・整理]	大阪市中央区 大手前 3 丁目 地内	大阪府立成人病センター整備事業 に伴う大坂城跡発掘調査	大坂城跡 13-2 難波宮跡 13-2	○事業者発注 □大坂城跡発掘調査 （成人病センター） に伴う航空測量	株式会社竹中工務 店大阪本店	成人病センター 建設
	23	久宝寺遺跡 [整理]	八尾市西久宝 寺・北久宝寺 3 丁目地内	高速自動車国道近畿自動車道天理 吹田線八尾パーキングエリア新設 事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 （八尾市域）	久宝寺遺跡 10-1	●久宝寺遺跡 2	西日本高速道路株 式会社関西支社	パーキング エリア新設
南部調査事務所	24	瓜破北遺跡 [整理]	大阪市平野区 瓜破西 1 丁目 地内	大阪府営瓜破西（第 3 期）住宅（建 て替え）建設工事に伴う瓜破北遺 跡遺物整理	瓜破北遺跡 12-1	●瓜破北遺跡	大阪府（住宅まち づくり部）住宅経営 室住宅整備課	府営住宅建設
	25	田井中遺跡 [調査・整理]	八尾市空港 1-81 陸上自衛 隊八尾駐屯地 地内	八尾（23 震災関連）格納庫建替に 伴う埋蔵文化財調査	田井中遺跡 12-2	○田井中遺跡（その 6） 発掘調査に伴う工事 □田井中遺跡（その 6） 発掘調査に伴う航空 測量	防衛省近畿中部防 衛局	格納庫建替

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
H25.7.1 ～ H25.8.26	1,967,000	128	—	—	奥村 茂輝	
H25.8.1 ～ H26.10.31	13,802,000	204	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・土坑・溝・土器集積・流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・石器・木製品	奥村 茂輝	平成 25 ～ 26 年度
H22.8.2 ～ H25.5.20	47,531,000	687	中世 城郭・墓域	堀切・火葬遺構・焼土坑・溝 土師器・瓦器・石造物・木製品・鉄製品・伏鉦・銭貨	岡本 圭司 信田真美世	平成 21 ～ 25 年度
H25.5.1 ～ H26.3.31	3,150,000	—			信田真美世	
H25.4.1 ～ H26.3.31	50,181,000	—	旧石器～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ピット・畦畔・溝・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・墨書土器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦器・陶磁器・瓦・埴輪・土製品・石器・石製品・木製品	陣内 暢子 後藤 信義 鹿野 壘	
H25.5.1 ～ H25.9.30	3,972,000	37	古墳時代～中世 集落・生産	土坑・ピット・溝・落ち込み 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦・サヌカイト	岡本 圭司	
H24.12.3 ～ H26.3.31	2,739,000	—	弥生～近世 集落・生産	礎石・流路・井戸・埋桶・土坑・ピット・溝・輻状遺構 弥生土器・土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器・土師質土器・瓦・石製品・木製品	新海 正博	平成 24 ～ 25 年度
H25.4.1 ～ H26.3.31	7,308,000	933	弥生～近世 集落・生産	掘立柱建物・土坑・ピット・溝・谷状地形・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・石製品	新海 正博	
H23.8.1 ～ H26.8.29	17,681,000	300	縄文～近世 集落・生産・神社	竪穴建物・掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ピット・水田・耕作溝・溝 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・石製品・石造物・鉄製品・銅鏡・銭貨・木製品	後川 恵太郎	平成 23 ～ 26 年度 四條畷市・寝屋川市と共同調査
H25.4.18 ～ H26.3.31	104,937,000	1,590	古墳時代～近世 集落・城館	掘立柱建物・柵列・柱穴・堀状遺構・井戸・土坑・ピット・鍛冶炉・溝 土師器・須恵器・瓦質土器・土師質土器・陶磁器・瓦・土製品・石製品・金属製品・鉄滓	島崎 久恵 新海 正博	
H25.7.1 ～ H27.1.30	25,752,000	1,622	古墳時代～近世 集落	柱穴・堀・流路・井戸・土坑・ピット・炉跡・溝・落ち込み 土師器・須恵器・瓦質土器・土師質土器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品・鉄滓	後藤 信義 新海 正博 小野 久隆	平成 25 ～ 26 年度
H22.11.1 ～ H25.9.30	5,495,000	—	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・流路・井戸・土坑・水田・溝 弥生土器・土師器・須恵器・石器・木製品	福佐美智子 水久保祥子	平成 22 ～ 25 年度
H25.6.3 ～ H25.8.30	306,000	—	旧石器～中世 集落・生産	井戸・土坑・溝・石器集中部・土器埋納遺構 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・ナイフ形石器・石核・剥片・碎片・木製品	市本 芳三 井上 智博	報告書刊行のみ
H24.3.29 ～ H26.3.31	93,948,000	1,966	弥生～中世 集落・生産	土坑・ピット・水田・島島・杭列・溝・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器・木製品・鉄製品	井上 智博 河本 純一	平成 23 ～ 25 年度

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種類
南部調査事務所	26	大県郡条里遺跡 [調査・整理]	柏原市法善寺 4丁目地内	寝屋川水系改良事業（一般河川恩 智川法善寺多目的遊水地）に伴う 大県郡条里遺跡発掘調査（その2）	大県郡条里遺跡 11-1・12-1	○事業者発注 □大県郡条里遺跡（そ の2）発掘調査に伴 う航空測量 ●大県郡条里遺跡	大阪府都市整備部 八尾土木事務所	治水緑地建設
	27	天美北6丁目北遺跡 [調査・整理]	松原市天美北 6丁目地内	都市計画道路堺松原線に伴う松原 市道天美北61号・62号・63号・ 64号線（近鉄環境側道）整備事業 天美北6丁目北遺跡 発掘調査 委託	天美北6丁目北遺 跡 13-1	○事業者発注 □天美北6丁目北遺跡 発掘調査に伴う航空 測量 ●天美北6丁目北遺跡	大阪府都市整備部 富田土木事務所	道路建設
	28	川北遺跡 [調査・整理]	藤井寺市川北 1丁目地内	バイパス送水管（藤井寺～長古） 整備工事に伴う川北遺跡発掘調査 委託	川北遺跡 13-1	○事業者発注 □川北遺跡発掘調査に 伴う基準点測量 ●川北遺跡	大阪広域水道企業 団事業管理部東部 水道事業所	送水管布設
	29	伯太藩陣屋跡 信太千塚古墳群 [調査]	和泉市伯太町 4丁目地内	都市計画道路池上下宮線建設工事 にかかると伯太藩陣屋跡・信太千塚 古墳群発掘調査	伯太藩陣屋跡 13-1 信太千塚古墳群 13-1	○事業者発注 □伯太藩陣屋跡・信太 千塚古墳群発掘調査 に伴う航空測量	大阪府都市整備部 鳳土木事務所	道路建設

2 主な調査の概要

(1) 中部調査事務所



成合遺跡 出土遺物

1. 成合遺跡11-1・金龍寺旧境内跡11-1・12-2 [整理]

昨年度より継続して成合遺跡・金龍寺旧境内跡の整理作業を行っており、本年度は報告書に掲載する遺構・遺物の図版作成等中心に事業を進めた。特に須恵器窯からはコンテナ箱で約120個分の須恵器が出土しており、その生産内容の把握につとめた。その結果、出土遺物の量は約1トンにのぼることや、硯や鉄鉢などの生産品目から都城や官衙、寺院などへの須恵器の供給を目的として操業された窯であったことが推測される。

2. 成合地獄谷遺跡 13-1・成合遺跡 13-1・金龍寺旧境内跡 13-1 [調査]

新規発見の成合地獄谷遺跡からは、7世紀の古墳1基や8世紀から9世紀の土坑墓など多くの遺構が検出された。古墳は、南に向かって開口する横穴式石室を主体部とする一辺4.0m前後の方形墳で、石室内埋土から須恵器杯蓋1点が出土した。また、土坑墓からは、

狻猊双鸞八花鏡1面や腰帯具（石製丸鞆や絞具）など貴重な遺物が出土した。関西電力鉄塔移設に伴う成合遺跡と金龍寺旧境内跡の調査では、成合遺跡から弥生時代中期の竪穴建物2棟と古代の土坑墓1基が検出された。

3. 磐手杜古墳群13-1 [確認・試掘]

眼下に三島平野を臨む安満山の南麓に位置する磐手杜古墳群と東側隣接地でトレンチ調査を行った。その結果、6世紀の須恵器杯や9世紀の須恵器長頸壺と石組が検出され、古墳の周溝や古代の遺構が残存している可能性が考えられた。

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
H24.12.3 ～ H26.10.31	52,350,000	3,500	縄文～中世 生産・集落	竪穴建物・柱穴・流路・井戸・土坑・杭列・水田・溝・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・土製品・石製品・木製品・金属製品	駒井正明 島崎久恵 黒須亜希子	平成24～26年度
H25.10.2 ～ H26.3.31	6,218,000	104	古代～中世 生産・集落	流路・水田 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶磁器	市本芳三 森屋美佐子	
H25.4.1 ～ H25.12.27	13,185,000	380	縄文～中世 生産	流路・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・製塩土器・瓦器・陶磁器・瓦・埴輪・土製品・石器・金属製品	森屋美佐子	
H25.12.2 ～ H26.3.31	6,321,000	1,933	古墳時代・近世 古墳・城館跡	古墳・土坑 土師器・須恵器・陶磁器・瓦・埴輪	森屋美佐子	

4. 磐手杜古墳群 13-2 [調査]

須恵器や石組が検出されたトレンチを中心に範囲を広げて調査を行った。須恵器片などが数点出土したが古墳の周溝は検出されなかった。また、直立する須恵器壺の南側、幅 0.8 m の平坦面からは、前回と同様の石組遺構が検出された。須恵器壺には焼骨が納められていたことから、石組を伴う古代の墓が存在していたものと考えられる。

5. 上牧遺跡隣接地 13-1 [試掘]・6. 井尻遺跡 13-1 [調査]

試掘調査により、井尻 1 丁目の微高地を中心とした遺跡が新たに認定され、本調査を行った。古墳時代・弥生時代の遺構・遺物もあったが、11 世紀後半から 13 世紀のものが多く、特に二つの、屋敷地区画溝と思われる溝に一括投棄された土器群があり、どちらも 11 世紀後半、出現期の瓦器と黒色土器が大量に共伴し、瓦器出現期の土器様相として注目できる。他に青磁・白磁・青白磁を副葬した土坑墓も 2 基検出された。



井尻遺跡 753 溝

7. 梶原寺跡隣接地 13-1 [試掘]

今回の調査では、国道 171 号線沿いの 1 区から、現在の西国街道（府道梶原高槻線）沿いの 20 区までの合計 20 箇所を対象とした。このうち、JR 東海道線から西国街道までの調査区と、国道 171 号線北側の調査区では湿地状の堆積環境を確認したのみで、遺構や遺物は検出されなかった。一方、JR 東海道線よりも南で阪急京都線にかけての調査区では溝や土坑を検出し、遺構内の包含層からは弥生時代中期の土器片が出土している。このことから、三五郎川の左岸には梶原寺跡付近から派生する舌状台地があり、そこには弥生時代以降の集落域もしくは墓域が広がっていた可能性が指摘される。



梶原寺跡隣接地 弥生時代中期の溝



梶原西遺跡 方形周溝墓周溝



千提寺市阪遺跡 ガラス小玉



千提寺南遺跡 北白川C式縄文土器深鉢

8. 梶原西遺跡 13-1 [調査]

北摂山麓の山裾の微高地に立地する遺跡である。北側調査区では、弥生時代中期前半の方形周溝墓の周溝を検出した。周溝内には供献土器もみられる。中央調査区では、炭が敷かれた大形の土坑や弥生時代後期の土器棺墓などを検出した。南側調査区では、長方形や不定形の、粘土採掘坑と考えられる群集土坑を検出した。

9・10. 千提寺西遺跡 12-1・日奈戸遺跡 12-1・千提寺市阪遺跡 12-1・千提寺クルス山遺跡 12-1 [調査・整理]

発掘調査は、千提寺西遺跡・千提寺市阪遺跡・千提寺クルス山遺跡の調査を継続し、8月で終了した。その後、千提寺西遺跡・日奈戸遺跡・千提寺市阪遺跡・千提寺クルス山遺跡の遺物整理を実施した。出土遺物は、コンテナ 227 箱であり、内容は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶器、磁器、石器、金属器、ガラス玉、骨、石造物（石仏・五輪塔部材）と多岐にわたる。ガラス玉はキリシタン関連遺物の可能性が考えられる。

11. 千提寺南遺跡 11-1 [調査・整理]

発掘調査で得た資料をもとに報告書作成を行った。土坑からかたまって出土した土器は、縄文時代中期末、北白川C式の一括性の高い資料である。また、その他の土器も縄文時代早期末から前期初めの希少性が高い土器や、前期、後期、晩期の土器、縄文時代早期の有舌尖頭器や石鏃が確認できた。これまで余り知られていなかった当地域での、長期間の活動痕跡が明らかになった。

12. 千提寺南遺跡隣接地 13-1 [試掘]

今回の調査では、縄文時代から中世の遺構・遺物が出土している千提寺南遺跡に隣接する丘陵上に6箇所のトレンチを設けたが、いずれのトレンチにおいても出土遺物はなく、また遺構も皆無であった。調査区の西北に隣接する千提寺南遺跡には、中世以前の集落もしくは耕作域が広がっていたが、今回調査を行った地点は未開拓地であったと考えられる。

13. 総持寺遺跡 13-1 [調査・整理]

今回の調査では、8～9世紀の土坑群、古墳時代中期（5世紀中頃から後半）の竪穴建物4棟・溝、弥生時代後期から平安時代にわたる旧河道を検出した。旧河道からは古墳時代中期の遺物がまとめて出土しており、これらは上述した竪穴建物の機能時に廃棄されたものと考えられる。総持寺遺跡のなかでも富田台地から西へ下った低地部分は、これまであまり発掘調査の機会に恵まれず、遺跡の様相につ

いては不明な部分が多かった。しかし今回の調査で、遺跡の西端において中心となる時代と、各時代における土地利用の様相がある程度あきらかになったといえる。

14・15. 止々呂美城跡 09-1 [調査・整理]

平成 21 年度に受託契約して行なってきた発掘調査は 4 月末で終了し、5 月より新たな受託として整理事業を実施した。城郭研究者である村田修三氏の協力を得て、城郭本体より約 300 m 離れた尾根上で検出した 2 本の堀切を、止々呂美城の「遠構え」として位置づけた。

さらに、同地点では堀切設置以前に盛土による造成が行なわれていたことを確認していたが、これを「道」遺構と捉えることにより、その遮断のために堀切が設置されたことが明らかになった。「道」遺構は、摂丹街道のバイパス機能を持つと思われる。



総持寺遺跡 竪穴建物で検出されたカマド跡

16. 吹田操車場遺跡 09-3・10-2・11-1・12-1・明和池遺跡 10-1・11-1・12-1 [整理]

2009 年度から 2012 年度まで継続して調査を実施した吹田操車場跡地の土地区画整理事業に伴う発掘調査の整理作業を行った。

吹田操車場遺跡では、旧石器時代から中世に至る各時期の遺物が出土しており、主な成果は、弥生時代以前からの谷地形の検出、古墳時代に属する粘土採掘坑と考えられる群集土坑の検出、谷地形周囲に形成された古代集落の検出等が挙げられる。

明和池遺跡では、縄文時代から中世に至る各時期の遺物が出土しており、主な成果は、山田川の前身と考えられる流路の検出、またその流路周辺に形成された弥生時代後期・古墳時代・古代・中世の各時期に属する建物群の検出等が挙げられる。

遺物整理・図面整理・写真整理等を行い、すべての調査区について成果をまとめた報告書を作成した。



明和池遺跡 弥生土器

17. 吹田操車場遺跡 13-1 [調査・整理]

中世以降と考えられる 2 面の遺構面とそれらに伴う溝、土坑、ピット、落ち込みを検出した。両面で検出した耕作に関連すると考えられる溝は、30°程西に振りながら南北方向に走るものが多く、これらは当地周辺に展開する嶋下郡南部の条里地割が N-33°-W をとる、との歴史地理学上の考察と合致し、当地の条里型地割の施行状況を考える上で、重要な資料を得ることができた。



吹田操車場遺跡 耕作痕

18. 本町遺跡 12-1[整理]

調査では近世期の井戸や埋桶、溝等の居住域を構成する遺構から多量の近世陶磁器、古墳時代の自然流路から須恵器が出土している。整理作業ではこれら出土遺物の分類・接合・実測、遺構図面作成・原稿執筆・写真図版作成、各種台帳作成等を実施し、平成 26 年 2 月に報告書を刊行した。

整理作業において、近世期の遺構から金寺山廃寺関連の瓦や新免古墳群第 3 号墳に関連する埴輪の出土を確認し、近隣遺跡との近親性を窺うことができた。また、本町遺跡では初見となる有舌尖頭器や旧石器を確認し、新たな知見を得ることになった。

19. 蛭池北遺跡 13-1[調査・整理]

蛭池北遺跡はこれまで豊中市教育委員会を中心に調査が重ねられ、今回の調査が 26 次にあたる。調査では近世期の耕作域が広範に展開し、調査地は著しい改変を受けていることが判明した。その中であっても、11 世紀後半頃の掘立柱建物群や土坑等を確認することができた。

調査終了後、出土遺物の実測や原稿執筆・遺構図面作成・写真図版作成等を主体とした整理作業を実施し、平成 25 年 11 月に報告書を刊行した。

20. 讃良郡条里遺跡 11-1・13-1

平成 23・24 年度に、四條畷市教育委員会・寝屋川市教育委員会と共同で調査を行っており、平成 25 年度に追加調査を行った。平成 25 年度の発掘調査では、古墳時代の集落、中世の集落、近世から近代の神社（大將軍社）及びその参道を検出した。特筆すべき遺物として、古墳時代の集落からは、滑石製石製品のほか、土器棺の可能性のある土師器蓋・甕が出土した。また、明治 44 年に忍陵神社に合



讃良郡条里遺跡
集落から出土した滑石製石製品（古墳時代）



大坂城跡 基盤層上面

祀されるまで地域の信仰を集めた大將軍社参道では、夥しい量の土師器皿が出土している。

21. 大坂城跡 13-1・難波宮跡 13-1 [調査]

当調査区は三の丸西端にあたる。調査区南半は豊臣期までは谷地形となっている。調査では徳川期には多数の廃棄土坑を検出、徳川初期には畠遺構の他、鍛冶炉を 5 基検出した。豊臣期から徳川初期にかけて調査区北側の丘陵部で区画施設と考えられる柵列および溝を検出した。区画内では、豊臣前期には堀状遺構を、後期には比較的多くの遺物と共に、礎石列、溝、井戸などを検出した。豊臣後期には屋敷地としての利用が推測できる。特筆できる遺物には沢瀉紋飾り瓦が挙げられる。その他、古代の掘立柱建物を検出した。

22. 大坂城跡 13-2・難波宮跡 13-2 [調査・整理]

調査地は大坂城三の丸跡にあたり、上町台地上と東西方向に指向する開析谷の北辺部に位置する。豊臣前期の遺構面では粘土採掘の穴や導水施設などを、豊臣後期の遺構面では大名屋敷地の北辺をはしる柵列や井戸などを検出した。遺物も青花や李朝白磁の輸入磁器や国産陶器

類をはじめ、漆器や下駄、筥や小刀柄といった木製品や金属器が出土した。

また、江戸時代の堀の中から刻印石を含む石垣材の残石が見つかった。これらの残石は、大坂城再築の際に豊前国岡藩中川家によって小豆島などから集められたと考えられる。

(2) 南部調査事務所

25. 田井中遺跡 12-2 [調査・整理]

今年度は、主に古墳時代から弥生時代前期にかけての遺構を調査した。古墳時代の遺構としては、前期～中期前葉に機能していたと考えられる杭列と、その位置を踏襲した古墳時代中期後葉～後期の溝が注目される。また、弥生時代の遺構としては、後期（～庄内式期?）と中期の水田のほか、前期末～中期初頭の溝が20条検出された。これらの溝には切り合い関係が多数認められ、溝の掘削と埋戻しが短期間に繰り返されたことが判明した。

26. 大県郡条里遺跡 11-1・12-1 [調査・整理]

寝屋川水系改良事業に伴う調査及び整理作業である。12-1 調査では、縄文時代晩期～中世末期までの遺構面（全9面）を検出した。このうち、縄文時代晩期～古墳時代後期の遺構面では、縄文時代晩期後半の竪穴状土坑やピット、貯蔵穴と推測される深さのある土坑を確認した。また、弥生時代～古墳時代を通じて開削されたと思われる多数の溝を検出し、条里型水田の導入以前から、地形に即した水田が営まれていたことが明らかとなった。

整理作業では、平成23・24年度に実施された11-1調査の成果をまとめ、調査報告書として刊行した。

27. 天美北6丁目北遺跡 13-1 [調査・整理]

当遺跡では、遺構面を4面検出し、中世から近現代に至る作土層および旧西除川の一部を検出した。中でも、水田面を2面検出し、そのうち、1面では東西に延びる畦畔を検出しているが条里区画とは合致せず、低湿地部の狭い範囲に作営された独自の施工法を持つと考えられる。水田面下層から、瓦器碗が出土することから、中世以降に開発されたものである。以降、数度にわたる流水堆積が確認できた。



大坂城跡 江戸時代の堀から出土した墨書石



田井中遺跡 弥生時代中期の水田



大県郡条里遺跡 第9面



天美北6丁目北遺跡 第2面 4畦畔



川北遺跡 第3面全景

28. 川北遺跡 13-1 [調査・整理]

当遺跡では、古代から中世にかけての水田面を4面検出した。また、旧大和川の本流と考えられる下層の古代の流水堆積層からは、縄文時代から古代までの多量の遺物が出土し、それらの中には、土師器・須恵器とともに、獣面文瓦や土馬なども出土している。

さらに、弥生時代の石器やサヌカイト剥片などが多量に出土したことから、近くに石器製作跡があった可能性がある。



信太千塚古墳群 1号墳

29. 伯太藩陣屋跡 13-1・信太千塚古墳群 13-1 [調査]

当遺跡では、伯太藩陣屋跡の柱穴および土坑を検出したが、屋敷地の確定には至らなかった。中でも、径約50cmのすり鉢の底部に孔を穿ち、逆様に置いたものが3か所出土し、中が空洞であったことから、水琴窟と考えられる。

なお、方墳を2基検出し、そのうちの1基の周溝からは円筒埴輪片が集中的に出土したが、盛土は削平されていた。

3 他府県調査技術支援

平成21～24年度に引き続き、公益財団法人鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき、鳥取西道路建設事業地内で実施された松原田中遺跡・金沢坂津口遺跡・常松菅田遺跡の発掘調査の技術支援のために職員3名を出向させた。

また、平成25年度は、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、東日本大震災の復旧・復興事業地内で実施された田の浜館跡・沢田Ⅲ遺跡・伏津館遺跡の発掘調査の技術支援のために職員2名、さらに、公益財団法人和歌山県文化財センターからの依頼に基づき、第二阪和自動車道建設事業地内で実施された平井遺跡・平井Ⅱ遺跡の発掘調査の技術支援に職員1名、公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、和歌山市計画道路松島本渡線建設事業地内で実施された津秦Ⅱ遺跡・井辺遺跡の発掘調査の技術支援に職員1名をそれぞれ出向させた。

IV 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 平成25年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加 人数	備 考
6月20日	「渡来人の生活文化と王権」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	56	近鉄文化サロンとの共催講座
7月18日	「災害と復興の考古学」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	44	近鉄文化サロンとの共催講座
10月10日	「天下の台所「大坂」－ 考古学からみた魚食文化 －」	一般	高石市図書館	21	大阪府教育委員会・高石市教育 委員会との共催
10月17日	「古代人の食卓風景」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	50	近鉄文化サロンとの共催講座
12月19日	「死と再生のデザイン」	会員・ 一般	近鉄文化サロン 阿倍野	64	近鉄文化サロンとの共催講座
1月26日	「発掘！検証！キリシタン 墓－高山右近とキリシタ ン－」	一般	高槻市生涯学習 センター	312	文化庁の補助金事業の採択を得 て実施
3月15日	「難波宮跡出土柱材の年 代－新たな年代測定法の 誕生」	一般	近つ飛鳥博物館	66	近つ飛鳥博物館スポット展示と 関連して実施
3月16日	「大阪を掘る－最新発掘 調査の成果－」	一般	近つ飛鳥博物館	43	大阪市教育委員会等との共催事 業として実施

計 656名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
5月24日	「豊臣氏滅亡への序章―大坂冬の陣を掘る―」	会員	日本水道協会	「日本水道協会土曜会」	30
5月27日	「行基―考古学で探る行基建立四十九院―」	一般	大阪府労働会館	エル・おおさか歴史セミナー	95
5月27日	「考古学最前線Ⅱ―遺跡から何が分かっているのか？海外編」①	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	17
5月27日	「考古学最前線Ⅱ―遺跡から何が分かっているのか？海外編」②	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	16
5月27日	「考古学最前線Ⅱ―遺跡から何が分かっているのか？海外編」③	一般	桃山学院大学	桃山学院大学桃山学院大学エクステンション・センターの講師	17
6月25日	「発掘調査報告会」	一般	摂津市立コミュニティプラザ	吹田操車場遺跡・明和池遺跡の保存と活用を考える市民の会の依頼	21
7月1日	「千提寺キリシタン墓地発掘調査報告会」	一般	カトリックセンター・サクラファミリア	高山右近列福運動推進委員会の依頼	90
7月4日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	堺 自由の泉大学「歴史探訪と考古学」講座	19
7月27日	「泉佐野市諸目遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第57回土曜講座	14
8月25日	『中世のムラとお墓・墓地』 「千提寺西遺跡の調査成果―中世墓から近世墓への変遷とキリシタン墓」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ博物館研究・調査報告会	101
7月27日	「泉佐野市諸目遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第57回土曜講座	14
9月28日	「高槻市成合遺跡の発掘調査」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館第59回土曜講座	12
10月4日	「千提寺遺跡群の調査―キリシタン墓の発見―」	一般	京都市生涯学習総合センター	京都市生涯学習総合センターアスニーセミナー	64
10月21日	「邪馬台国を支えた水田と畑」	一般	大阪府労働会館	エル・おおさか歴史セミナー	85
11月16日	「讃良郡条里遺跡」	一般	大阪府立弥生文化博物館	大阪府立弥生文化博物館スポット展講演会	161

計 756名

2. 現地説明会等

平成25年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
11月20日	大県郡条里遺跡現地公開	一般	柏原市 大県郡条里遺跡	38
11月23日	大坂城跡現地説明会	一般	大阪市 大坂城跡	467

計 505名

3. 文化財体験学習事業

(1) 出前授業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月2日	「弥生時代のくらし」	小学6年生（3クラス）	泉佐野市立長南小学校	85
9月25日	地域誌カリキュラム 「古墳の話」	懐風館高校2年生	大阪府立懐風館高等学校	22
9月27日	地域誌カリキュラム 「古墳の話」	懐風館高校3年生	大阪府立懐風館高等学校	40

計 147名

(2) 子ども向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月6日	「縄文土器の模様を作ってみよう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	8
7月21日	「江戸時代のこどもの遊び」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	10
8月17・18日	「埴輪貯金箱を作ろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	97

計 115名

(3) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月22日～ 7月26日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立今宮高校 2年生	弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館ほか	13
10月17日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	和光高校2年生	弥生文化博物館ほか	24
12月9日	集中講座 「考古学入門」	大阪府立大手前高校生	大阪市 大坂城跡	12

計 49名

(4) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
11月13日	発掘体験	2・3年生	駒ヶ谷遺跡	22	府立懐風館高校生、羽曳野市教委の協力
11月22日	発掘現場見学	6年生	大県郡条里遺跡	78	柏原市立堅下北小学校生徒が見学

計 100名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
6月18日～ 7月21日	「国内最古の「分銅」の発見とその意義」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
7月2日～ 7月21日	「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見」	一般	大阪府立中央図書館	旧大阪府庁舎跡出土遺物を展示
11月12日～ 12月1日	「最新報告 讃良郡条里遺跡の弥生時代」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
8月1日～ 10月14日	「キリシタン墓発見！～千提寺地区発掘調査速報展～」	一般	茨木市立キリシタン遺物史料館	茨木市立キリシタン遺物史料館との共催
10月2日～ 12月23日	「茅渟の海のなりわい」	一般	高石市立図書館郷土資料室	大阪府教育委員会・高石市教育委員会・弥生文化博物館との共催
1月11日～ 3月16日	「茅渟の海のなりわい」	一般	堺市すえむら資料館	大阪府教育委員会・高石市教育委員会・弥生文化博物館との共催
3月4日～ 4月6日	「難波宮跡出土柱材の年代—新たな年代測定法の誕生」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展示

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（24年度）を編集した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行ったほか、記念講演会「ヤマト王権と地域首長」に鹿野壘を派遣し、基調講演「百舌鳥・古市古墳群とその前夜」を行った。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第19回の平成25年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、当センターが開催法人となり、平成25年11月22日(金)、大阪府立弥生文化博物館で開催した。『まつりと弔い』というテーマで11本の研究発表が行われ、当センターからは若林幸子が「中世後葉から近世にかけての墓の変遷とキリシタン墓」と題して発表を行った。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成25年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	372冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,755冊
計	3,127冊
累計	85,710冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計82,700レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真・映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先／展示期間	展示等名称	資料名	点数
近つ飛鳥博物館 H25.4.27～H25.6.30	平成25年度 春季特別展 「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」	大庭寺遺跡：布留形甕2／久宝寺遺跡： 車輪石	3
和泉市立いずみの国歴史館 H25.5.18～H25.7.7	“道”でひもとく和泉の歴史－ 『和泉市の歴史6 テーマ叙述編』 刊行記念特別展－	大庭寺遺跡Ⅱ：須恵器把手付き椀、須恵 器高坏2、須恵器器台2、／野々井西遺跡： 樽形はそう／大庭寺遺跡Ⅴ：軟質土器平 底鉢、軟質土器甗／小阪遺跡：須恵器高坏、 土師器はそう	10
弥生文化博物館 H25.6.18～H25.7.21	平成25年度 スポット展示「国内 最古の「分銅」の発見とその意義」	亀井遺跡：磨石11、石杵、砥石2、弥生 土器片2	16
大阪府立図書館 H25.7.1～H25.7.21	大阪府立中央図書館展示企画 「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見」	旧大阪府庁舎跡：レンガ2、耐火レンガ2、 磁器皿、衛生陶器、タイル3、柱頭飾り	10
鈴鹿市考古博物館 H25.7.13～H25.9.1	特別展「伊勢湾をめぐる交流」	亀井遺跡：分銅形土製品	1

<p>近つ飛鳥博物館 H25.7.20～H25.9.16</p>	<p>平成25年度夏季企画展「さまざまなお墓・墳墓のうつりかわり」</p>	<p>向出遺跡：深鉢8、注口土器、浅鉢、小玉／巨摩・瓜生堂遺跡：弥生甕4、弥生壺2、弥生水差形土器、弥生台付鉢、弥生鉢、木棺／久宝寺遺跡Ⅴ：直口壺4、壺（土器棺身）、甕（土器棺蓋）、小型丸底壺6、有段口縁鉢4、甕2、土器棺蓋、土器棺身、管玉4、土器棺3、甕2、壺4／栗栖山南墳墓群：須恵器壺、須恵器蓋2、短刀2、備前壺、瓦質羽釜、温石、銭貨、鉄釘10／吹田操車場遺跡Ⅵ：瓦器椀、土師器皿6／津田遺跡Ⅱ：須恵器四耳壺、須恵器双耳壺、灰釉陶器小瓶、毛拔、灰釉陶器長頸壺、青磁皿3、青磁碗3、瓦器椀、土師器皿2、釘／大尾遺跡：播鉢2／高宮遺跡：和鏡、青白磁合子／玉櫛遺跡：銅銭11、漆器椀、卒塔婆／仏並遺跡Ⅲ：深鉢3／仏並遺跡：深鉢1／日置荘遺跡：青磁碗3、土師器皿13、土師器杯、瓦器椀、／栗生間谷遺跡：白磁皿、土師器大皿5、劍、鏡、土師器皿18、白磁碗、短刀2、鉄釘4、青磁皿、刀子2、砥石、須恵器鉢、瓦器椀／大坂城跡：須恵器骨蔵器、蔓草鳳麟鏡、海獸葡萄鏡、数珠母珠／大阪城址Ⅲ：数珠、銭貨6／小畑遺跡：瓦器椀2、短刀、青磁碗、須恵器鉢／千提寺西遺跡：土人形3</p>	<p>192</p>
<p>村上衡器製作所 H25.7.30～H25.8.1</p>	<p>精密測定</p>	<p>亀井遺跡：磨石11</p>	<p>11</p>
<p>茨木市立キリシタン遺物資料館 H25.8.1～H25.10.14</p>	<p>平成25年度キリシタン遺物史料館企画展「キリシタン墓発見！～千提寺地区発掘調査成果展～」</p>	<p>千提寺西遺跡：羽釜、瓦器椀、瓦器皿、土師器皿3、白磁碗、青磁碗、石仏、羽釜（蔵骨器）、土製品（鳥）、土製品（猿）、土製品（僧）、土製品（虚無僧）、土製品（鶏）、寛永通宝6</p>	<p>21</p>
<p>弥生文化博物館 H25.8.13～H25.10.14</p>	<p>平成25年度夏季特別展「弥生人の船ーモンゴロイドの海洋世界ー」</p>	<p>久宝寺遺跡：準構造船復原模型（実物大、舳先）、準構造船模型（全体）／亀井：大型蛤刃石斧・縦斧柄、分銅（磨石）11、石杵、砥石2／西岩田遺跡：横斧柄／若江北遺跡：鉄斧柄</p>	<p>19</p>
<p>鈴鹿市考古博物館 H25.9.21～H25.11.24</p>	<p>特別展「伊勢湾をめぐる交流」</p>	<p>下田遺跡：船形木製品／大庭寺遺跡：船形土製品／田井中遺跡：土師質船形土製品／東奈良遺跡：船形土製品</p>	<p>4</p>
<p>太子町教育委員会 H25.10.2～H25.12.8</p>	<p>平成25年度竹内街道歴史資料館秋季企画展「最古の官道ー二上山麓の古代遺跡ー」</p>	<p>駒ヶ谷遺跡：円面硯2、漆附着土器3、凝灰岩・安山岩3、墨書土器2、土師器椀、製塩土器4、土師器杯、土師器甕、須恵器壺4、奈良三彩・小壺／椋谷石切場：土師器杯2、黒色土器鉢、石製品／楠木石切場：須恵器杯、土師器長頸壺、瓦器椀3、石製品3／田須谷古墳群：模型、土師器皿4、土師器杯4、須恵器蓋2、須恵器杯6、須恵器壺2、須恵器平瓶、鉄釘9、骨製品、銭貨、石製品6、須恵器杯蓋4、須恵器杯、土師器甕／丹上遺跡：埴2／真福寺遺跡：埴／蔵塚古墳：須恵器蓋、須恵器杯身2、須恵器はそう3、須恵器器台</p>	<p>87</p>

高石市立図書館郷土資料室 H25.10.3～H25.12.23	平成 25 年度 高石市立図書館郷土資料室展示 「茅渟の海のなりわい」	男里遺跡：まだこ壺 3 / 小島北磯遺跡： 製塩土器 14 / 湊遺跡：製塩土器 11 / 脇 浜遺跡：蛸壺 5、製塩土器 / 西大路遺跡： 製塩土器 5 / 田山遺跡：蛸壺 9、製塩土器 8、 土錘 10 / 植松遺跡 2：甕型製塩土器 / 讃 良郡条里 IX：甕型製塩土器 / 讃良郡条里 VIII：甕型製塩土器	71
大阪府立近つ飛鳥博物館 H25.10.5～H25.12.8	平成 25 年度 秋季特別展 「考古学からみた推古朝」	大和川今池遺跡：埴輪片、土師器管状土 錘、須恵器 14、土師器把手片、土師器高 坏片 / はざみ山遺跡：須恵器 20、土師器 4、埴輪転用竈、土製仮面 2 / 河原城遺跡： 須恵器 4	49
吹田市立博物館 H25.10.12～H25.12.1	平成 25 年度秋季特別展 吹田操車場開設 90 年・名神高速 道路開通 50 年記念 「交通の 20 世紀—吹田操車場と 名神高速道路—」	吹田操車場遺跡：大日本（大阪）麦酒株 式會社の瓶 、清涼飲料水の瓶（有馬鉱泉サイダー瓶）、 萩乃家牛乳瓶、汽車土瓶：瀬戸焼（古藤製） 「浜松駅／自笑亭」、汽車土瓶：会津本郷 焼「鶴岡駅伊勢屋」、汽車土瓶：信楽焼（内 キ土瓶）、井の蓋、米原駅うなぎ井〈蓋・鉢〉、 お吸い物容器、湯呑み：汽車土瓶、湯呑み： ガラス製、刻印煉瓦、三ツ矢サイダー瓶、	13
大阪府立弥生文化博物館 H25.10.22～H25.12.23	平成 25 年度 秋季特別展 「吉備と邪馬台国 —靈威の継承—」	久宝寺遺跡：壺、手焙形土器、椀形高杯 / 亀井遺跡：分銅形土製品、匙形土製品 2、 細頸壺、仿製鏡、銅鐸片 2、銅鏃 2、銅釧	13
尼崎市田能資料館 H25.11.1～H25.12.15	第 43 回特別展 「縄文・弥生時代の装い」	仏並遺跡：土面 / 山賀遺跡：翡翠勾玉 / 亀井遺跡：牙製勾玉、碧玉製管玉 / 巨摩 遺跡：有鉤銅釧、ガラス勾玉、管玉 2、ガ ラス製小玉 8 / 弥生女性マネキン （衣装なし）	17
大阪歴史博物館 H25.11.2～H26.2.11	平成 25 年度 特別展 「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」	大坂城址 II：鍔金具 2、紐金具、鞆 3、総 鎖、漆膜、打出鮫 4、責金 2	14
大阪府立近つ飛鳥博物館 H26.1.25～H26.4.6	平成 25 年度 冬季企画展 「歴史発掘おおさか 2013」	瓜破北遺跡：角錐状石器、打面再生剥片、 縦長剥片、横長剥片石核、横長剥片、ナ イフ形石器 2、縦長剥片 12、石核 / 大泉 郡条里遺跡：ナイフ形石器、縄文浅鉢、 縄文浅鉢・深鉢 4、縄文深鉢、墨書土器（須 恵器蓋） / 亀井遺跡：分銅 11、石杵、砥 石 2、弥生土器 2 / 田井中遺跡：庄内形甕 4、 壺 3、碗形高坏、高坏 2、小形器台、小形 鉢 2 / 成合 1 号墳：須恵器 坏蓋 12、須 恵器坏身 2、須恵器壺、土師器高坏、土師 器椀？、砥石、鉄鏃 2、不明鉄製品、刀子 2 / 西の庄東遺跡：ガラス瓶 2、汽車土瓶、 ダニエル電池容器 3、耐火煉瓦 2、煉瓦 17、	105
鈴鹿市考古博物館 H26.1.11～H26.3.9	平成 25 年度 冬季企画展 「中津式—転換期のかたち」	小阪遺跡：縄文深鉢 3、縄文浅鉢、石皿、 敲石 / 仏並遺跡：縄文深鉢 2、縄文浅鉢、 縄文土面 / 山ノ内遺跡：縄文深鉢 / 池田 寺遺跡：縄文深鉢 / 向出遺跡：縄文深鉢 2	14
安城市歴史博物館 H26.2.15～H26.3.30 予定	平成 25 年度 冬季特別展 「大交流時代」	久宝寺・竜華地区：甕 5、装飾器台、壺 4、 S 字甕、台付鉢、小型高杯、受口甕、石杵、 石皿、小型鉢、開脚高杯、高杯、V 様式甕 2、 庄内甕、鉢、二重口縁壺 2、準構造船（模 型）、準構造船（復元）	27

<p>大阪府立弥生文化博物館 H26.1.13 ~ H26.3.16</p>	<p>平成 25 年度冬季企画展 「王の系譜—稲作の伝来から前方 後円墳の成立—」</p>	<p>下田遺跡：銅鐸、環形付木製品、刀剣把 装具、短甲、刀形木製品、剣形木製品、 船形木製品、琴、木製腰掛、製塩土器丸 底、伝統的V様式甕 2、土師器小型丸底壺 2、土師器小形器台 4、庄内式甕、土師器 高杯 2、土師器東海系壺、布留式甕 4、土 師器東海系甕 3、布留系高杯、土師器二重 口縁壺 2、直口壺 2、有段口縁鉢 2、土師 器壺、イイダコ壺 4、製塩土器脚台 4、製 塩土器丸底 3 / 下池田遺跡：弥生鉢、弥 生壺 3、弥生甕、弥生細頸壺 2、弥生高坏、 弥生器台、弥生手焙型土器、銅鏃、弥生 甕 / 男里遺跡：柱状片刃石斧、弥生高坏、 石庖丁 4、弥生壺 5、石鏃 10、絵画土器、 砥石、イイダコ壺 10、柱状石斧、石槌、 大型蛤刃石斧 2、マダコ壺、打製石剣、弥 生甕、弥生水差形土器、弥生紀伊系直口 壺 2、鉄器 3 / 小阪遺跡：縄文甕 4、浮線 文土器 2、弥生壺 3、石錘 3、磨製石斧 2、 石包丁 3、石鏃 5、スクレイパー 2、石匙 10、縄文刳庄痕土器片 2、縄文深鉢 5 / 湊遺跡：製塩土器 7 / 小島北磯遺跡：製 塩土器 6、碇石 / 大庭寺遺跡：須恵器坏身、 須恵器無蓋高杯 3、須恵器大甕 5、軟質土 器甕、軟質土器甕、須恵器把手付椀 2、須 恵器杯蓋 2、須恵器高坏形器台 2、須恵器 樽型土器、土師器高杯、土師器甕 2、軟質 土器甕 2 / 向出遺跡：縄文深鉢 6、縄文 浅鉢 5、縄文鉢 3、縄文注口土器、石棒 5、 縄文大洞系土器、縄文北陸系土器 / 伏尾 遺跡：家形埴輪</p>	<p>225</p>
<p>高槻市立今城塚古代歴史館 H26.3.15 ~ H26.5.18</p>	<p>平成 2 5 年度 春季特別展 「淀川中流域の弥生文化」</p>	<p>讚良郡条里遺跡：壺 2、甕 2、深鉢、鉢（浮 線文土器） / 私部南遺跡：手焙形土器、壺 3、 動物形土製品、石棒、石庖丁 2 / 上の山 遺跡：甕 2、壺 / 萩之庄南遺跡：高杯、砥 石、鉄鏃、壺</p>	<p>21</p>

23 件

914

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	展示等名称	貸出期間	資料名	点数
和泉市立いずみの国歴史館	常設展示	H25 年 4 月 1 日 ~ H26 年 3 月 31 日	福瀬遺跡：墨書皿（寺）、木製弓 2、下駄 2、匏台、桶底、椀、雁股式茎鏃、小刀 / 仏並遺跡：縄文土器（鉢）、縄文土器（深 鉢）、土面レプリカ、パネル 2 / 池田寺遺跡： 縄文土器（深鉢）、文字瓦（池田・堂） 2	16 パネル 2
大阪府立弥生文化博物館	常設展示	H25 年 4 月 1 日 ~ H26 年 3 月 31 日	新家遺跡 / 瓜生堂遺跡 2 / 巨摩廃寺 6 / 山賀遺跡 6 / 亀井北遺跡 / 亀井遺跡 26 / 田山遺跡 47 / 西大路遺跡 5 / 脇浜遺跡 12 / 貝掛遺跡 9	115
泉佐野市立歴史館いずみさの	常設展示	H25 年 4 月 1 日 ~ H26 年 3 月 31 日	上町東遺跡；白磁椀 2 / 若宮遺跡：檀波 羅密寺銘平瓦 8 / 日置荘遺跡；鉄瓶	11
堺市立みはら歴史館	常設展示	H25 年 4 月 1 日 ~ H26 年 3 月 31 日	真福寺遺跡：梵鐘鑄造遺構切り取り	1

堺市立みはら歴史館	常設展示	H25年4月1日 ～H26年3月31日	真福寺遺跡：梵鐘鑄型等8、鑄型（外型）用途不明、鑄型（外型）馨、瓦器椀2、東播こね鉢、土師器羽釜、鑄型（外型）鍋2、鞆羽口2、円面硯／余部遺跡：馨鑄型2、釜鑄型／太井遺跡：鞆羽口2、統一新羅印花文陶器、延喜通寶3、坩堝4、鞆羽口2、須恵器高杯、丸軈／さば山古墳：円筒埴輪2、朝顔形埴輪2／丹上遺跡：巡方	41
大阪府立狭山池博物館	常設展示	H25年4月1日 ～H26年3月31日	城山遺跡：韓式土器5／日置荘遺跡：青磁椀	6
大阪府立近つ飛鳥博物館	常設展示	H25年4月1日 ～H26年3月31日	久宝寺遺跡6／美園古墳6／小阪遺跡40／日置荘遺跡2	54
吹田市立博物館	常設展示	H25年4月1日 ～H26年3月31日	吹田操車場遺跡：須恵器大甕	1

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的・展示等名称	資料名	点数
(株) ベストセラーズ	雑誌『歴史人』	巨摩遺跡：木製竪櫛／瓜生堂遺跡：田下駄、木製櫓／巨摩遺跡：木製穂摘具／西岩田遺跡：木製鎌／亀井遺跡：鉄鏃	6
(株) エヌ・ティ・エス	電子書籍 『鳥の骨探 NetLibrary 版』	山賀遺跡：鳥類（キジ科）の骨／亀井遺跡：鳥類（キジ科）の骨	2
吉野ヶ里公園管理センター	企画展『よみがえる邪馬台国』倭人伝の道Ⅰ「倭人 海峡を渡る」	久宝寺遺跡：準構造船出土状況	1
和歌山市立博物館	特別展 「海人の世界－発掘された海辺の暮らし－」	東奈良遺跡：船形土製品／大庭寺遺跡：船形土器／下田遺跡：製塩土器／田井中遺跡：土師質船形土製品／溝咋遺跡：製塩土器／小島北磯遺跡：製塩土器2	7
共同通信社奈良支局	配信記事 『弥生時代の分銅みつかる』	亀井遺跡：分銅形土製品3	3
大阪府立中央図書館	「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見」	旧大阪府庁舎跡：旧府庁跡階段、旧府庁跡中央ドーム、旧府庁跡調査地全景、大阪実測図（明治21年）、大阪実測図（明治21年）江之子島部分、府庁（大阪府写真帖）	6
滋賀県立安土城考古博物館	特別展 「華麗なる漁と美味なる食－魚・人・琵琶湖の過去・現在・未来－」	池上曾根遺跡：土錘／池島・福万寺遺跡：土錘出土状況	2
柏原市立歴史資料館	企画展 「難波より京に至る大道を置く」	大和川今池遺跡：難波大道全景	1
(株) タプロス	雑誌『歴史人』 広告	久宝寺遺跡：準構造船出土状況	1
韓式土器研究会	資料『韓式系土器研究 13』	池島・福万寺遺跡：(写真4点) 井戸遺物出土状況、土師器甕、土師器鉢、陶質土器、(挿図3点) 10面全体図、井戸平断面図、井戸出土遺物実測図	7
(株) 山川出版社	『ビジュアル版日本史図録』	亀井遺跡：白	1
鈴鹿市考古博物館	「小さきものたち－にんぎょうのれきし」	亀井遺跡：分銅形土製品2	2
大阪府立近つ飛鳥博物館	企画展「さまざまなお墓－墳墓のうつりかわり－」	千提寺西遺跡：調査区全景、長方形墓	2
(株) 日本計量新報社	週間専門新聞『日本計量新報』	亀井遺跡：出土磨石、磨石・砥石・石杵出土状況	2

(有) スタジオ・ジップ	『入門 邪馬台国と古代日本』	亀井遺跡：鉄鏃	1
鈴鹿市考古博物館	特別展「伊勢湾をめぐる交流」	下田遺跡：船形木製品／大庭寺遺跡：船形土器／田井中遺跡：土師質船形土製品／東奈良遺跡：船形土製品	4
(公財) 枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財報告第71集 『禁野本町遺跡IV』	シンポジウム資料集『発掘・復元・検証 いまよみがえる枚方の20世紀』	3
茨木市立文化財資料館	企画展「キリシタン墓発見！～千 提寺地区発掘調査速報展～」	千提寺西遺跡：石仏、人骨が出土した近 世墓、近世を中心とする墓地、キリシタ ン墓3、遠景、建物跡、全景、調査区配置 図、羽釜人骨出土状況	11
岐阜県立博物館	特別展「弥生大集落～荒尾南遺跡 が語るモノと心～」	池島・福万寺遺跡：土偶	1
大阪府立弥生文化博物館	特別展 「弥生人の船～モンゴロイドの 海洋世界～」	久宝寺遺跡：準構造船復原模型2、SD42 船部材出土状況、出土船部材2、溝 SD45・46／亀井遺跡：大型蛤刃石斧・ 縦斧柄、分銅、石杵、砥石／若江北遺跡： 鉄斧柄／西岩田遺跡：横斧柄	12
(株) ユニフォトプレスイン ターナショナル	帝国書院発行『最新日本史図説』	大坂城址：戊申年木簡	1
中日新聞社	朝刊『ジュニア中日』 「なるほどランド」	亀井遺跡：分銅形土製品2	2
猪名川町教育委員会	速報展 猪名川町遺跡発見！！ PART 2」同時開催イベント 「犬形土製品を作ろう」	大坂城址：犬形土製品	1
大阪府立狭山池博物館	特別展「近世狭山池の水利変革－ 灌漑方式の統一とその水利技術－」	八尾南遺跡：大和川右岸堤防断面上部	1
(株) 同成社	ものが語る歴史シリーズ No.30 『イヌの考古学』	亀井遺跡：1号犬雄 全身骨格、1号犬 雌 全身骨格、イヌの骨折した右脛骨と 腓骨、雄頭蓋骨3、イヌの右下顎骨（孔あ り）、イヌの頭蓋骨3、土器に残されたイ ヌの噛み痕	11
吹田市立博物館	特別展「交通の20世紀－吹田操 車場と名神高速－」	吹田操車場遺跡：瓶4、汽車土瓶3、井の 蓋、井鉢、吸い物容器、湯呑2、瓦	13
大阪府立弥生文化博物館	特別展 「吉備と邪馬台国－靈威の継承－」	久宝寺遺跡：壺、手焙形土器、椀形高杯 ／亀井遺跡：分銅形土製品2、匙形土製品 2、細頸壺、貨泉3、仿製鏡、銅鐸片2、 銅鏃6	20
堺市立中央図書館	電子書籍『古墳のなぜ？なに？百 舌鳥古墳群ガイドブック』 (発行：堺市立博物館)	巨摩遺跡：3号方形周溝墓全景、埴輪窯、 灰原出土埴輪	3
朝日新聞出版	週刊 新発見！日本の歴史 28号 「江戸1 徳川家康の国家構想」	大坂城址：菅平右衛門（木簡表・裏）2、 調査区全景	3
大阪府立近つ飛鳥博物館	特別展「考古学からみた推古朝」	大和川今池遺跡：難波大道全景、調査区 上空から／はざみ山遺跡：建物38から 40附近検出状況、1・3トレンチ東半全景、 1800溝全景／河原城遺跡：B地区北半	6
大鉄工業(株) 京都支店	吹田操車場遺跡の工事記録	吹田操車場遺跡：C1・C2地区群集土坑、 第6地区南半全景（南西から）	2
大阪歴史博物館	特別展「戦国アバンギャルドとそ の昇華 変わり兜×刀装具」	大坂城址：鎧金具2、紐金具、鞋3、総鎖、 漆膜、打出鮫4、貴金2	14

太子町教育委員会	企画展「最古の官道と古代氏族—二上山麓の古代遺跡—」	駒ヶ谷遺跡：奈良三彩小壺、製塩土器、凝灰岩切石、流路 580 と二上山、墨書土器 2、掘立柱建物跡 1・2 / 椋谷石切場跡：採石坑全景 2、採石坑 A、採石坑 H、採石坑 B、出土遺物 / 楠石切場跡：遺構全景、採石ユニット全景、調査区全景、出土土器・土製品、出土未製品 / 田須谷古墳：遠景 2、1 号墳全景 2、1 号墳石槨完掘状況、赤彩石棺材、鉄釘・刀子、和同開珎、1 号墳出土土器、火葬墓蔵骨器埋置復元状況 / 蔵塚古墳：全景、出土土器	30
尼崎市立田能資料館	特別展「縄文・弥生時代の装い」	仏並遺跡：土面 / 亀井遺跡：冠状木製品、儀杖状骨角器 / 山賀遺跡：翡翠勾玉 / 巨摩遺跡：管玉・勾玉・小玉、方形周溝墓の男性人骨の出土状況 2、木製竪櫛、有鉤銅釧	9
読売新聞	記事 (千提寺西遺跡・千提寺市阪遺跡)	千提寺市阪遺跡：66 土坑の出土遺物（ガラス玉） / 千提寺西遺跡：近世墓の出土遺物、17 土坑出土遺物	7
(株) ジャパン通信情報センター	月刊『文化財発掘出土情報』「各地の動向」H25.11～12月号	千提寺西遺跡：キリシタン墓地	1
カトリック仁川教会	講演会ポスター	千提寺西遺跡：近世墓全景	1
野田市郷土資料館	平成 25 年度特別展「野田の絵馬～ならわし、なりわい、わざわい、たすけあい」	讚良郡条里遺跡：絵馬「神馬」	1
四條畷市教育委員会	公民館歴史講座『なわて探求～地域の歴史を切り取る』	讚良郡条里遺跡：調査区全景、建物 22、122 土坑、124 土坑 2、143 土坑 3、出土遺物集合、突帯文土器深鉢、弥生甕	11
柳田康雄氏	『日本・朝鮮半島の青銅武器研究』雄山閣発行	瓜生堂遺跡：銅戈 4、久宝寺遺跡：銅戈再生品	5
(株) ユニフォンプレスインターナショナル	帝国書院発行『最新日本史図説』	亀井遺跡：くびれ白	1
島根県立古代出雲歴史博物館	企画展「倭の五王と出雲の豪族」	大庭寺遺跡：船形土製品、TG231・232 号窯出土初期須恵器 / 伏尾遺跡：土師質土管、土師器炊飯具	4
韓国 MBC 放送	安伽羅耶をさがして	大庭寺遺跡：須恵器	1
(株) KADOKAWA 中経出版	『歴史読本』	下田遺跡：SD1108 出土土器	1
グループ・コロンブス(有)	学研教育出版『絵でわかる社会科事典⑥衣食住の歴史』	伏尾遺跡：土師器炊飯具 / 溝咋遺跡：土師器炊飯具 / 亀井遺跡：くわ、きね	4
大阪歴史博物館	常設展示パネル	大坂城址：絵馬 1（白黒反転画像）	1
猪飼野探訪会	『河内どんこう』第 102	久宝寺遺跡：SD42 船部材出土状況	1
浜島書店	『新詳日本史』	亀井遺跡：一本鋤	1
(株) 中外日報社	記事	大坂城址：絵馬 10	10
吉原忠雄氏	論文	伽羅橋遺跡：文字瓦（□陀佛）	1
泉佐野市教育委員会	パネル展	上町遺跡：1 地区上段全景、206 - 00 遺物出土状況 / 机場遺跡：全景、土橋の遺構	4
堺市博物館	常設展	野々井西遺跡：灰原東西断面西半部、断面全景 / 大庭寺遺跡：TG232 号窯灰原 2、TG232 号窯灰原の遺物出土状況、TG232 号窯灰原最下層の遺物 / 小阪遺跡：C 地区溝群 / 日置荘遺跡：埴輪出土状況	8

竹田市	広報たけた	大坂城跡：全景	1
安城市歴史博物館	特別展 「大交流時代－鹿乗川流域遺跡群と古墳出現前夜の土器交流－」	久宝寺遺跡：準構造船（レプリカ）、準構造船（模型）、SD46 船材出土状況、石皿・石杵・朱塊、古墳時代初頭の前方後円墳、第 4 遺構面 1 号墓	6
大阪文化財研究所	『上町台地の歴史（仮）』	大坂城跡：戊申年木簡	1
雄山閣	『季刊考古学』第 127 号	池島・福万寺遺跡：第 13 面出土弥生土器／讚良郡条里遺跡：土器集合／若江北遺跡：溝 25 出土資料	3
東京国立博物館	弥生時代の近畿 －華麗なる土器と青銅器の展開	船橋遺跡：調査地遠景	1
橿原考古学研究所附属博物館		山賀遺跡：検出状況、石鏃出土状況 2、石鏃／巨摩・瓜生堂遺跡：方形周溝墓 17、管玉・勾玉・小玉、周溝内出土土器 3、木棺全景、開蓋状況 2、石鏃出土状況 2、／巨摩・若江北遺跡：マウンド検出状況 2、埋設施設検出状況 2、周溝墓主体部 18、周溝内出土土器 9、柱状片刃石斧、水差、壺 2、人骨検出状況、盛土断面、調査の東側半分、木錘、鋤の柄	70
河内長野市教育委員会	シリーズ河内長野の遺跡 8	仏並遺跡：土面	1
(株) 大修館書店	『歴博国際シンポジウム 古代日本と古代朝鮮の文字文化交流』	大坂城跡：木簡 2	2
近つ飛鳥博物館	冬季特別展	亀井遺跡：分銅形土製品、遺物出土状況／田井中遺跡：全景、143 井戸／成合 1 号墳：横穴式石室全景、遺物出土状況、調査区全景／西の庄東遺跡：木製弁当箱蓋、ダニエル電池容器集合、煉瓦刻印 8／瓜破北遺跡：石器出土状況、石器 2、井戸断面／大県郡条里遺跡：調査区遠景、河川左岸全景、縄文土器出土状況、縄文土器	25
(株) 洋泉社	『歴史 REAL 大坂の陣と真田戦記』	大坂城跡： 掘り出された豊臣期大坂城の堀	1
高槻市教育委員会	今城塚古代歴史館春季特別展	讚良郡条里遺跡：建物 22、浮線文土器、出土突帯文土器および弥生土器、土器棺出土状況、124 土坑ほか出土弥生土器／私部南遺跡：調査地遠景、動物形土製品、水田面全景／上の山遺跡：大型掘立柱建物／萩之庄南遺跡：第 2 遺構面全景	10
河内長野市教育委員会	シリーズ河内長野の遺跡 8	高向遺跡：遺跡全景	1
吉川弘文館	『豊臣秀吉と大坂城』 (シリーズ 人をおるく)	大坂城跡：掘り出された豊臣期大坂城の堀	1
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 26 年度春季特別展	大庭寺遺跡：TG232 号窯出土土器／讚良郡条里遺跡：調査区遠景／太秦古墳群：古墳群全景、出土遺物	4
大阪歴史博物館	特別展「大阪遺産 難波宮」	大坂城址：絵馬 2、赤外線画像（絵馬）4、実測図（絵馬）4、柱穴列 190、柱穴列 190 の柱根	12
(株) ぎょうせい	やさしい八尾市史	八尾南遺跡：弥生時代後期遺構面／亀井遺跡：亀井 1 号犬（♂）全身骨格／池島・福万寺遺跡：条里地割の水田、室町時代の島倉	4
68 件			397

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成 25 年度は、下記の図書を出版した。

1	瓜破北遺跡
2	久宝寺遺跡 2
3	吹田操車場遺跡 9
4	大県郡条里遺跡
5	蛭池北遺跡
6	川北遺跡
7	本町遺跡
8	千提寺南遺跡
9	止々呂美城跡
10	天美北 6 丁目北遺跡
11	大阪文化財研究 第 43 号
12	芹生谷遺跡Ⅲ
13	瓜破北遺跡Ⅱ
14	瓜破北遺跡Ⅲ
15	久宝寺遺跡・瓜生堂遺跡・讃良郡条里遺跡
16	長池窯跡群
17	禁野本町遺跡
18	柳原遺跡
19	太井遺跡発掘調査概要・Ⅲ
20	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報 17

※ 12 から 20 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成 25 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1,418 冊

9 保存処理事業

(1) 平成25年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺 跡 名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200 点
大坂城跡	木製品	整理・点検	400 点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200 点
下田遺跡	木製品	整理・点検	150 点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD 処理	100 点
大坂城跡	木製品	PEG-FD 処理	100 点
巢本遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50 点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD 処理	110 点
諸目遺跡	木製品	PEG-FD 処理	30 点
大坂城跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	200 点
大坂城跡 13-2	金属遺物	アクリル樹脂処理	7 点
止々呂美城跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	32 点
成合遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	81 点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30 点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	327 点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	5000 点
明和池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 5 箱
久宝寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
禁野本町遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
田井中遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 200 点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

V 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。弥生プラザは、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナー。

＜弥生プラザ展示＞

「田井中遺跡－河内平野における弥生文化の成立を探る－」

平成25年4月2日(火)～平成25年12月23日(月祝)

「雁屋遺跡 北河内の弥生時代拠点集落」

平成26年3月4日(火)～平成26年3月30日(日)

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示した。

2. 特展企画展事業

(1) 春季企画展「とんぼ玉100人展－小さな夏の涼 現代作家のおもてなし－」

【入館者数：9,523名 154名/日】

- ア. 開催概要 ガラス工芸のなかでも、ひときわ繊細な輝きを放つとんぼ玉。本展では、瑞々しい感性と確かな技術に裏打ちされた現代作家たちの作品を展示した。
- イ. 開催期間 平成25年5月25日(土)～8月4日(日) 【会期:62日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般400円(320円) 65歳以上および高校大学生300円(240円)
()内は団体割引料金
- オ. 展示解説 とんぼ玉製作者による実演会などを実施した。
6月2日(日)110名、6月29日(土)95名、7月6日(土)82名、7月14日(土)105名 【参加者数：計392名】

(2) 夏季特別展「弥生人の船－モンゴロイドの海洋世界－」

【入館者数：7,123名 130名/日】

- ア. 開催概要 船は無限の世界への扉を開く鍵。謎の多かったこの時期の船も、近年の発掘調査でみえてきている。造船技術に大きな進歩がみられ、大海原を船団が行き来した弥生時代の船はどのようなものか。目的地にたどりつくその航海術は？縄文時代、古墳時代、そして古代モンゴロイドの海洋文化と比較して考えた。
- イ. 開催期間 平成25年8月13日(火)～10月14日(月・祝) 【会期:55日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室

- エ. 入館料 一般 600 円 (480 円)、65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)
() 内は団体割引料金
- オ. 印刷物 図録、ワークシート
- カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
8 月 31 日 (土) 25 名、9 月 7 日 (土) 39 名、9 月 21 日 (土) 38 名、
10 月 14 日 (月祝) 82 名 【参加者数:184 名】

(3) 秋季特別展「吉備と邪馬台国－靈威の継承－」

【入館者数：16,380 名 298 名/日】

- ア. 開催概要 瀬戸内海に臨み、肥沃な平野を有する要衝の地「吉備」。この地は、いち早く首長墓が形成されることや埴輪の起源である特殊器台の発見がみられるなど、邪馬台国の時代への道のりを考える上で重要な地と言える。本展では、吉備弥生社会の様子から、弥生時代の具体像に迫る展示を行った。
- イ. 開催期間 平成 25 年 10 月 22 日(火)～12 月 23 日(月祝) 【会期:55 日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)
() 内は団体割引料金
- オ. 印刷物 図録、リーフレット、子ども解説シート
- カ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
10 月 26 日 (土) 13 名、10 月 30 日 (土) 21 名、11 月 2 日 (土) 101 名、
11 月 3 日 (日祝) 53 名、11 月 9 日 (土) 68 名、11 月 23 日 (土祝) 63 名、
11 月 30 日 (土) 52 名、12 月 7 日 (土) 60 名、12 月 17 日 (火) 45 名、
12 月 23 日(月祝)121 名 【参加者数:合計 563 名】

(4) 冬季企画展 摂河泉シリーズ 1 「和泉 王の系譜－稲作の伝来から前方後円墳の成立－」

【入館者数：7,037 名 131 名/日】

- ア. 開催概要 大阪南西部、泉州に根付いた弥生文化は、社会に大きな変化をもたらした。生産が高まり、ムラとムラとのつながりが強まる中、クニや王権が産声をあげる。弥生時代の巨大環濠集落、古墳時代の王墓・前方後円墳に当時の社会状況が映し出される。人々は激動の世をどのように乗り越えていったのか。さらに、支配のあり方を追求する展示を行った。
- イ. 開催期間 平成 26 年 1 月 13 日(月・祝)～平成 26 年 3 月 16 日(日) 【会期:54 日間】
- ウ. 場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円)
() 内は団体割引料金
- オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
1 月 13 日 (月祝) 87 名、2 月 1 日 (土) 45 名、3 月 16 日 (日) 31 名
【参加者数:合計 163 名】

(5) その他展示事業

- ① 春季企画展示「創作展 いずみ」 【参加者数：9,458名 338名/日】
- ア. 開催概要 和泉市文化協会美術 11 部門（押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、南画、日本画、俳画、洋画）の粋を一同に集めた展示を行った。
- イ. 開催期間 平成 25 年 4 月 6 日(土)～5 月 6 日(月祝) 【会期:28 日間】
- ウ. 開催場所 特別展示室
- エ. 入館料 一般 300 円 (240 円)、65 歳以上及び高校大学生 200 円 (160 円)
() 内は団体割引料金
- ② 特別陳列 東京国立博物館考古資料相互活用促進事業「和泉黄金塚古墳と卑弥呼の鏡」
【参加者数:6,206名 127名/日】
- ア. 開催概要 和泉信太山の丘陵に築かれた王墓、和泉黄金塚古墳。全長 90 m を越える大型前方後円墳からは 3 基の埋葬施設が確認され、その中央から「景初三年」の銘を持つ青銅鏡が出土した。これは邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送った年。美しい装飾品とともに埋葬された人物と卑弥呼の関係は？ 青銅鏡、装飾品など鍵を握る副葬品から和泉の古代史に思いをはせた。
- イ. 開催期間 平成 26 年 1 月 5 日(日)～平成 26 年 3 月 2 日(日) 【会期:49 日間】
- ウ. 開催場所 第 1 展示室

3. 講演会事業等

(1) 春季企画展「とんぼ玉 100 人展」関連

- ① とんぼ玉制作実演
- 6 月 2 日(日) 竹内 太祐 【参加者数：110 名】
- 6 月 29 日(土) 内田 敏樹 【参加者数：95 名】
- 7 月 6 日(土) 山本 達也 【参加者数：82 名】
- 7 月 13 日(土) 増井 敏雅 【参加者数：105 名】
- ② 「とんぼ玉製作体験」講師 佐竹ガラス 流工房
- 6 月 8 日(土)、6 月 16 日(土)、6 月 22 日(土) 【参加者数：141 名】

(2) 夏季特別展「弥生人の船」関連

- ① 考古学セミナー
- 8 月 31 日(土)「黒潮圏の考古学」元東京都学芸員 小田静夫 【参加者数：145 名】
- 9 月 7 日(土)「弥生の海を往く船とその信仰」奈良大学名誉教授 水野正好 【参加者数：151 名】
- 9 月 21 日(土)「倭人船—久宝寺・加美遺跡出土の船材を中心として—」 【参加者数：129 名】
京都橘大学教授 一瀬和夫
- 10 月 14 日(月・祝)「古代モンゴロイドの海洋世界」南山大学教授 後藤 明 【参加者数：180 名】
- ② 関連ワークショップ
- 8 月 25 日(日)「船のペーパークラフト—出航！弥生の海へ—」 【参加者数：75 名】
- 9 月 22 日(日)「船のペーパークラフト—出航！弥生の海へ—」 【参加者数：24 名】

(3) 秋季特別展「吉備と邪馬台国」関連

① 関連講演

- 11月2日(土) 「吉備弥生社会の変容と古墳時代への移行」 【参加者数:359名】
岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 松木 武彦
- 11月9日(土) 「吉備弥生文化の成立と発展」 【参加者数:239名】
総社市教育委員会文化課主幹 平井 典子
- 11月23日(土・祝) 「吉備弥生人の姿と心」 【参加者数:215名】
岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 光本 順
- 11月30日(土) 「継承論理の創出」 【参加者数:182名】
徳島文理大学文学部文化財科教授 大久保 徹也
- 12月7日(土) 「ヤマトの国邑」 【参加者数:235名】
田原本町教育委員会文化財保存課課長 藤田 三郎
- 12月23日(月・祝) 「前方後円墳の創生」 【参加者数:616名】
桜井市纏向学研究センター所長 寺沢 薫

② 関連ワークショップ

- 11月10日(土) 「消しゴムと粘土でつくっちゃおう! 弥生人のかお」 【参加者数:72名】
- 11月17日(土) 「消しゴムと粘土でつくっちゃおう! 弥生人のかお」 【参加者数:134名】

(4) 冬期企画展 摂河泉シリーズ第1弾「和泉 王の系譜」関連

関連考古学セミナー

- 1月13日(月・祝) 「泉州における古墳文化の受容—邪馬台国時代の一大拠点集落—」 【参加者数:201名】
大阪府立近つ飛鳥博物館 副館長 西村 歩
- 2月1日(土) 「製塩土器でわかる泉州と他地域のむすびつき」 【参加者数:135名】
泉南市教育委員会 河田 泰之
- 3月16日(日) 「池上曾根遺跡の今」 【参加者数:165名】
講演「池上曾根遺跡の最新の調査成果」
和泉市教育委員会 千葉太朗
シンポジウム「池上曾根遺跡の今」
和泉市教育委員会 千葉太朗、乾 哲也、元泉大津教育委員会 坂口
昌男、当館館長 黒崎 直、当館副館長 秋山浩三

(5) 特別陳列「和泉黄金塚古墳と卑弥呼の鏡」

関連考古学セミナー

- 2月9日(日) 「4世紀後半の和泉と黄金塚古墳の鏡」 【参加者数:335名】
大阪市立大学文学部准教授 岸本直文

(6) スポット展示

- ①「国内最古の分銅の発見とその意義」6月18日(火)～7月21日(日) 【参加者数:3,666名】
- ②「讃良郡条里遺跡の弥生時代」 11月12日(火)～12月1日(日) 【参加者数:4,624名】
- ③ スポット展示関連シンポジウム
「讃良郡条里遺跡の弥生時代」報告 11月16日(土) 【参加者数:161名】

- (7) 弥生博の考古学講座「My digging 弥生研究を変えた遺跡」
- 5月25日(土)「土井ヶ浜遺跡—女王国の門戸・豊浦—」 【参加者数:49名】
奈良大学名誉教授 水野正好
- 6月15日(土)「讃良郡条里遺跡—弥生文化の伝播—」 【参加者数:58名】
当館総括学芸員 中尾智行
- 7月20日(土)「大中の湖南遺跡—弥生の地下の正倉院—」 【参加者数:119名】
当館館長 黒崎 直
- 8月17日(土)「楯築弥生墳丘墓—吉備大首長墓の実相—」 【参加者数:202名】
当館副館長 秋山浩三

- (8) 弥生時代入門講座 聞いてなっとく弥生の世界 (近畿弥生の会との共催)
- 6月22日(土)「近畿の青銅器祭祀」 【参加者数:73名】
愛媛大学ミュージアム准教授 吉田 広
- 8月10日(土)「弥生時代の家族と社会～お葬式の考古学～」 【参加者数:79名】
京都府教育委員会副主査 藤井 整
- 10月26日(土)「近江の大型建物と集落の様相」 【参加者数:91名】
公益財団法人栗東市体育協会文化財調査課係長 近藤 広
- 12月14日(土)「木器からみた弥生社会」 【参加者数:75名】
兵庫県立考古博物館事業部学芸課長補佐 篠宮 正
- 2月8日(土) 「丹後地域の墓制と地域間関係」 【参加者数:73名】
公益財団法人元興寺文化財研究所研究員 村田裕介
- 【5回参加者数 計391名】

(9) 弥生博 木曜大学

前半講義テーマ「弥生の人びとが生きた世界」

講師 当館副館長 秋山浩三

- 11月 7日(木)「米食の始まり—縄文時代から弥生時代へ—」 【参加者数:118名】
- 11月14日(木)「最初の<近畿弥生人>は何処から来たか」 【参加者数:149名】
- 11月21日(木)「弥生人の体格と衣食住」 【参加者数:115名】
- 11月28日(木)「弥生人の生業(なりわい)」 【参加者数:129名】
- 12月 5日(木)「弥生人のマツリ」 【参加者数:141名】
- 12月12日(木)「弥生集落の風景」 【参加者数:149名】
- 12月19日(木)「弥生時代に「都市」は存在したか」 【参加者数:147名】
- 1月16日(木)「卑弥呼の墓はどれか—弥生墓から古墳へ—」 【参加者数:244名】
- 1月23日(木)「古墳の誕生—弥生時代から古墳時代へ—」 【参加者数:241名】

後半講義テーマ「トイレ考古学入門」

講師 当館館長 黒崎 直

- 1月30日(木)「トイレは何処だ!—トイレ遺構の発見—」 【参加者数:144名】
- 2月 6日(木)「どうしてトイレと判るのか?—トイレ考古学の確立—」 【参加者数:164名】
- 2月13日(木)「古代都市のトイレ事情—藤原京・平城京のトイレ遺構—」 【参加者数:175名】
- 3月 6日(木)「日本列島・西と北のトイレ—鴻臚館(こうろかん)跡・秋田城跡のトイレ遺構—」 【参加者数:139名】

3月13日(木)「中世のトイレー平泉・鎌倉のトイレ遺構と描かれたトイレー」

【参加者数:127名】

3月20日(木)「トイレ遺構の研究、あれこれートイレ考古学の現在・過去・未来ー」

【参加者数:119名】

(10) 若き考古学徒、論壇デビュー！

第1回 1月25日(土)

【参加者数:87名】

「弥生時代における鉄器生産の様相ー近畿地方を中心にー」

関西大学大学院博士課程前期課程2年次 今井真由美

「集落からみる律令体制形成期の畿内社会」

大阪市立大学大学院前期博士課程1回生 道上祥武

「学生時代と考古学と博物館」

当館館長 黒崎 直、当館副館長 秋山浩三、当館学芸員 柴田妃三光

第2回 2月15日(土)

【参加者数:99名】

「畿内における古墳出現期土器の展開ー摂津地域を対象としてー」

大阪大学学部4回生 岩越陽平

「古墳における水鳥形埴輪の役割に関する考察ー近畿の古墳を中心にー」

近畿大学学部4回生 黒田夏希

「鋳留短甲における副葬方法の変遷」

関西大学大学院博士課程後期課程1年次 藤井陽輔

第3回 3月15日(土)

【参加者数:87名】

「弥生時代後期山陰圏の形成プロセスと内実解明にむけて」

大阪市立大学大学院前期博士課程1回生 山口綾子

「弥生時代後半期における地域間交流の動態ー東部瀬戸内海地域を対象としてー」

大阪大学大学院博士前期課程1回生 桐井理揮

「遠江における古墳時代の須恵器生産」

関西大学学部4回生 北嶋未貴

(11) 弥生博と池上曾根遺跡にかかわった「めおと de 考古学」

第1回 2月22日(土)

【参加者数:46名】

「弥生博学芸員の頃／そして、遺跡の発掘調査にかかわった頃」

東大阪市立小学校教諭(元当館) 東 徹志、元東大阪市教育委員会嘱託 東 朋子

「弥生石器研究の展開／そして、池上曾根遺跡の学術史における位置」

同志社大学 若林邦彦、公益財団法人文化財センター 若林幸子

第2回 3月22日(土)

【参加者数:51名】

「弥生集落・建物研究の展開／そして、博物館指定管理者制度の揺籃期」

西宮市教育委員会 合田茂伸、大阪府文化財センター(元当館) 合田幸美

「池上曾根遺跡の調査・保護運動・史跡整備と煩悶／そして弥生土器研究の展開 第二阪和道路調査整理の秘話」

日本民家集落博物館 井藤 徹、元財団法人大阪府文化財センター 井藤暁子

- (12) 弥生フェスティバル連続講演会 邪馬台国をヤマトに探る「纏向と箸墓」
- 3月25日(火)「纏向遺跡と箸墓古墳の出現」 【参加者数:310名】
 桜井市教育委員会文化財課調査研究係長 橋本輝彦
- 3月26日(水)「纏向と箸中山(箸墓)」 【参加者数:305名】
 兵庫県立考古博物館館長 石野博信
- 3月27日(木)「問い直すべき箸墓古墳の築造」 【参加者数:296名】
 日本考古学協会理事 森岡秀人
- 3月28日(金)「ヤマト国から倭国へー纏向石塚から箸墓へー」 【参加者数:295名】
 大阪市立大学准教授 岸本直文
- 3月29日(土)「箸墓古墳像の再構築に向けて - 微の巻 基本資料の再確認 - 」
 宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室陵墓調査官 福尾正彦 【参加者数:241名】
- 3月30日(日)「箸墓古墳の存在と『魏志倭人伝』」 【参加者数:267名】
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館学芸課長 今尾文昭
- (13) その他
- 大阪湾見守りネット・きしわだ自然資料館主催講演会(タカラハーモニストファンド助成事業)
- 4月7日(日)「大阪湾を中心としたタコ壺漁の歴史」 【参加者数:38名】
 兵庫県立考古博物館事業部学芸課課長補佐 篠宮 正

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

運営委員:安井 柁雄(ヴァイオリン) 稲本 直(コンサート企画)、田中寛治(社会教育)

- 5月26日(日)「音楽に寄せて~魅惑のピアノズム~」 【参加者数:188名】
 入谷幸子(ピアノ)
- 6月 9日(日)「4人のロマン派作曲家による様々な「愛」のカタチ」 【参加者数:181名】
 山口和子(ソプラノ)、農頭奈緒(ヴァイオリン)、西村 彩(ピアノ)
- 6月30日(日)「フルーツパーティー」 【参加者数:283名】
 フルーツアンサンブル エスカル
- 7月 7日(日)「たなばた☆コンサート~ピアノで綴る名曲の調べ~」 【参加者数:213名】
 木村彩乃、荒賀なみ(ピアノ)
- 7月21日(日)スペシャルコンサート「~オリジナル楽器で聴く ウィーンの調べ~」
 デンハーグピアノ五重奏: 【参加者数:286名】
 小川加恵(フォルテピアノ)、高橋未希(ヴァイオリン)、朝吹園子(ヴィオラ)
 アダム・レマー(ヴァイオリン)、山本 徹(チェロ)、角谷朋紀(コントラバス)
- 7月28日(日)「SUMMER JOINT CONCERT ~ヴァイオリンとピアノで奏でる名曲~」
 大川彬子(ヴァイオリン)、藤本実沙(ピアノ) 【参加者数:226名】
- 8月18日(日)「風と木の調べ」 【参加者数:192名】
 KCO室内アンサンブル:
 高橋夏樹(フルート)、政次知己(オーボエ)、大沼正史(クラリネット)

- 西島直子 (ファゴット)、石谷亮介 (ホルン)、十川登志夫 (チェロ)
 浜崎綾子・三木 弦 (ヴァイオリン)、萩原 愛 (ヴィオラ)、中村敦子 (ピアノ)
- 9月 1日 (日) 「2台のピアノによるコンサート「My Favorite Things」Piano × Piano!」
 松浦尚美、鶴圭子、吉田薫、武田友子、仲西洋子 (ピアノ) 【参加者数:171名】
- 9月15日 (日) スペシャルコンサート「ふいご楽器で巡る欧州音楽紀行～アイリッシュケルトか
 ら東欧ロマまで～」 【参加者数:151名】
 ふいごっち (鞆屋): 藤沢祥衣 (アコーディオン・コンサーティナ)
 金子鉄心 (イーリアン・パイプス、ティンホイッスル他)
- 9月29日 (日) 「ピアノ&ヴァイオリンオータムコンサート」 【参加者数:184名】
 谷村真紀 (ピアノ)、山下悠介 (ヴァイオリン)
- 10月 5日 (土) トワイライトコンサート「昭和のジャズ名曲コンサート」 【参加者数:242名】
 いまむら直子 Duo:いまむら直子 (ピアノ&ボーカル)、田中洋一 (トランペット)、
 宮野友邑 (ベース)、澤崎 至 (ドラム)
- 10月20日 (日) 「秋*彩り」 【参加者数:117名】
 ぐれいす: 初瀬川未雪 (ピアノ)、長岡真貴子 (サクソフォン)、横白美智代
 (打楽器)
- 11月24日 (日) 「地球は歌っている ギター音楽の世界」 【参加者数:208名】
 佐久間優 (クラシックギター)
- 12月 1日 (日) 「水の精を中心に」 【参加者数:171名】
 林友季子 (ピアノ)
- 12月 8日 (日) 「3つのキセキ～トリオの軌跡・音楽の奇跡～」 【参加者数:210名】
 トリオ・サンタロサ:
 田久保友妃 (ヴァイオリン)、竹中裕深 (チェロ)、本多千紘 (ピアノ)
- 12月15日 (日) 「天使の響き～ハンドベルコンサート part7～」 【参加者数:182名】
 ドリーム21 ハンドベル教室 (ハンドベル)、高木至通、高木希見子
- 1月 5日 (日) 「津軽三味線と民謡のひととき」 【参加者数:294名】
 亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子 (津軽三味線・民謡)
- 1月19日 (日) 「冬の日の幻想」 【参加者数:143名】
 浅川晶子 (ピアノ)
- 1月26日 (日) 「鳥の想い、人の心」 【参加者数:140名】
 大城梨花 (フルート)、大城杏子 (ピアノ)
- 2月 2日 (日) 「バロックから古典へ」 【参加者数:285名】
 アンサンブル大阪:
 木村直子、安田華香 (ヴァイオリン)、中塚哲司 (ヴィオラ)、伊石昂平 (チェロ)
 宮田雄規 (コントラバス)、吉田奈穂 (フルート)、中本吉啓 (クラリネット)
 村田理子 (ピアノ)、徳永直樹 (指揮)
- 2月16日 (日) 「彼方に広がる冬の音楽」 【参加者数:175名】
 盛谷明美 (ピアノ)
- 3月 2日 (日) 「うきうき楽しいオカリナアンサンブル」 【参加者数:166名】
 オカリナアンサンブル『ピクニック』:
 竹田正俊・小川知子・野田佳子・西岡昭彦・田中理子

3月 9日(日)「オペラティックトリオによるバラエティコンサート♪お城へようこそ♪♪～唱歌からオペラまで～」【参加者数：182名】

オペラティックトリオ：

村田紀子(ソプラノ)、小島百合子(メゾソプラノ)、林典子(ピアノ)

3月 23日(日)「テオ feel so goood!」【参加者数：165名】

アンサンブル・テオフィール：田久保友妃(ヴァイオリン)、左川佑璃(フルート)、古川真也(サクソフォン)、植田祐加里(ピアノ)

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

5月 17日(金)～5月 22日(水)「杉原孔子水彩画展－光と空気とやすらぎを求めて－」

【入館者数：1,489名】

5月 28日(火)～6月 8日(土)「仏像細密画・わら筆書展」【入館者数：2,224名】

8月 3日(土)～8月 17日(土)「第18回卑弥呼の時代を描こう絵画コンテスト優秀作品展」

【入館者数：2,052名】

8月 20日(火)～25日(日)「大阪伝統工芸 和泉蜻蛉玉」【入館者数：1,076名】

10月 22日(火)～11月 10日(日)「華麗なるエッグアート セントエッグの世界」

【入館者数：4,194名】

11月 13日(水)～11月 23日(土祝)「畠山幸子染色展」【入館者数：2,434名】

11月 26日(火)～11月 30日(土)「第4回貫頭衣コンテスト入賞作品展」【入館者数：922名】

12月 3日(火)～12月 7日(土)「岡山県観光パネル展」【入館者数：955名】

12月 3日(火)～12月 23日(月祝)「岡山県観光パネル展関連ぬりえ展」【応募者数：14名】

2月 4日(火)～28日(金)(16日(日)を除く)

「ふるさとの風景を受け継ぐ－文化的景観・日根荘の風景－」【入館者数：2,380名】

3月 1日(土)ギャラリートーク「ふるさとの風景を受け継ぐ－文化的景観・日根荘の風景－」

泉佐野市教育委員会 東野 直 【参加者数：21名】

フォーラム 【参加者数：85名】

「日根荘と日根荘大木の農村景観」泉佐野市教育委員会 東野直明

「市の文化的景観を未来へ」宇治市歴史まちづくり推進課 杉本 宏

「文化的景観を活かしたまちづくり」京都大学大学院 神吉紀世子

(3) 第18回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで8月3日(土)から8月17日(土)まで展示した。【入館者数：2,052名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、上田正克(元泉大津市立浜小学校校長)

① 応募期間：6月1日(土)～6月30日(日)

② 応募点数：278点

③ 表彰式：8月3日(土)

金賞「卑弥呼」小椋叶麗(堺市立北八下小学校6年)

金賞「むらの戦い」和田優貴(和泉市立鶴山台北小学校6年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点、入賞48点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：139日 協力者数：288名】

4月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢体験）」

【活動日数：14日 協力者数：33名】

5月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弥生米つき体験）」

【活動日数：11日 協力者数：26名】

6月「道具作り」、「展示室巡回」、「土器・銅鐸パズル」、「石器を使ってみよう」、春展「とんぼ玉制作体験補助」

【活動日数：13日 協力者数：25名】

7月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（鳥形紙ひこうきをつくろう）」、「講演会準備」、「春展とんぼ玉制作体験補助」

【活動日数：10日 協力者数：26名】

8月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（火おこし）」、「ワークショップ補助」、「和泉蜻蛉玉体験補助」、「夏展WS（船のペーパークラフト作り）」

【活動日数：11日 協力者数：19名】

9月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（土器に触れてみよう）」、「出前授業」、「夏展WS船のペーパークラフト作り」

【活動日数：15日 協力者数：20名】

10月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「ボランティア夏展・秋展特別解説」、「PRテッシュ配布準備作業」、「シール切り」、「出前授業」、「子どもFD（弥生の米つき体験）」

【活動日数：12日 協力者数：21名】

11月「出前授業」、「土器・銅鐸パズル」、「道具作り」、「子どもFD（石器を使ってみよう）」、「秋展WS消しゴムと粘土でつくっちゃおう弥生人の顔」

【活動日数：9日 協力者数：18名】

12月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（火おこし）」、「花のしおりをつくろう」

【活動日数：7日 協力者数：17名】

1月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢体験）」、「ボランティア冬展特別解説」、「団体利用案内冊子組み、封筒詰め作業」

【活動日数：11日 協力者数：25名】

2月「土器・銅鐸パズル」、「道具づくり」、「子どもFD（土器に触れてみよう）」

【活動日数：11日 協力者数：22名】

3月「子どもFD（火おこし）」、「土器・銅鐸パズル」、「弥生フェスティバル体験補助」、「道具作り」

【活動日数：15日 協力者数：36名】

<ボランティア活動の内容>

翻訳ボランティア：開催要項等の英語翻訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

【入館者数：10,088名】

<堺市>南八下小学校、南八中学校、若松台小学校、西百舌鳥小学校、城山台小学校、新浅香山小学校、北八下小学校、土師小学校、神石小学校、金岡小学校、津久野小学校、竹城台東小学校、三国ヶ丘小学校、東三国ヶ丘小学校、浅香山小学校、福泉小学校放課後ルーム、福泉東小学校、市小学校、安井小学校、上野芝小学校、鳳小学校、深井小学校、東浅香山小学校、日置荘小学校、庭代台小学校、
 <和泉市>国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、信太小学校、幸小学校、芦部小学校、和気小学校、北松尾小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、黒鳥小学校、鶴山台南小学校、南横山小学校
 <泉大津>上條小学校、条東小学校、旭小学校、浜小学校、穴師小学校、条南小学校、楠小学校
 <高石市>羽衣小学校、清高小学校
 <忠岡町>忠岡小学校、東忠岡小学校
 <岸和田市>中央小学校、春木小学校、旭小学校、太田小学校
 <貝塚市>二色小学校、北小学校、葛城小学校あゆみの丘分級、中央小学校
 <泉佐野市>大木小学校、上之郷小学校
 <泉南市>新家小学校
 <大阪市>遠里小野小学校、生野小学校、生野南小学校、矢田北小学校、成育小学校、荻田北小学校、新平野西小学校、弁天小学校、小路小学校、泉尾小学校、栄小学校、喜連小学校、喜連西小学校、萩之茶屋小学校、佃小学校、深江小学校、玉出小学校、千本小学校、依羅小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉小学校、今川小学校、上福島小学校、私立建国小学校
 <東大阪市>弥刀東小学校
 <松原市>天美南小学校
 <羽曳野市>恵我之荘小学校、古市小学校
 <八尾市>美園小学校
 <枚方市>藤阪小学校
 <和歌山市>大新小学校、名草小学校、藤戸台小学校、西佐和小学校、有功小学校
 <和歌山県橋本市>柱本小学校、紀見小学校
 <和歌山県海南市>大東小学校
 <兵庫県伊丹市>鴻池小学校
 <兵庫県西宮市>仁川学院小学校
 <私立>金剛学園小学校、かつやま子どもの村小学校

(2) 大学・高等学校・中学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：2,483名】

① 大学・高等学校・中学校等

熊取町立熊取南中学校、和泉市立信太中学校スキ一部野外活動部、紀の川市立貴志川中学校美術部、専修大学、國學院大學研究室、登美丘高校教員、富秋中学校校区合同研修会、大阪大谷大学、大阪府立成美高等学校、大阪府立今宮高等学校、大阪府立堺聴覚支援学校、京都学園中学校、和泉市鶴山台第一・二保育園、和泉市国府第2保育園、芦部保育園、大阪府立千里青雲高等学校、大阪府立和泉支援学校中等部、桃山学院大学、奈良大学（上野ゼミ）、神戸女子大学、関西大学博物館、摂南大学、滋賀県立大学、大阪府立和泉総合高等学校、比治山大学

② その他団体

阪急交通社、金福文化財団、株式会社自然総研、ならコープ、奈良大学OB山陵会、年輪大学、楽雅喜会、さぬき市文化財保護協会、四條畷市立歴史民俗資料館、光明台2丁目婦人会、中央文化財研究院、西友歩会、デイサービスはんなり、和泉市消防本部予防課、グループホーム美樹の園、藤井寺市藤共同作業所、大阪府愛護推進委員会、障友会堺みなみ、クボタ堺久友会、八尾市教職員退職者の会、出雲国まほろばガイドの会、貝塚市人権政策課、打田史談会、大阪府高齢者大学歴史探訪科、みはま学園、WMC A学院、観光ボランティア協会、池上曾根学習館、泉州・紀北ミュージアムネットワーク総会、大阪府都市教育長協議会、特養グレース堺デイサービスセンター、かなえ会、第19回近畿ブロック埋蔵文化財研修会、泉州観光プロモーション、朝寿会、大阪府高齢者大学校自然文化を楽しむ会、大阪市青少年活動協会あいすおおさか、和歌山県母子健康づくり協議会、日根野地区福祉委員会、堺あすなる園、和泉市校長会、日本セカンドライフ協会、枚方古文化同好会

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月3日(水)	19校	【参加者:60名】
4月4日(木)	7校	【参加者:18名】
4月5日(金)	6校	【参加者:19名】

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【利用者数:5,761名・72回】

(5) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

12月3日(火) NPO法人高齢者大学校:貫頭衣2着

(6) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

【実績:3,241名・98回】

<堺市>宮山台小学校、八上小学校、日置荘西小学校、熊野小学校、市小学校、深井小学校、三原台小学校

<泉大津市>戎小学校、楠小学校

<泉佐野市>佐野台小学校、長南小学校、大木小学校

<岬町>深日小学校

<大阪市>宮原小学校、福小学校、築港小学校、荻田南小学校、東中川小学校、栄小学校、大阪市阿倍野区阪南連合子ども会、榎並小学校

<枚方市>川越小学校

<豊中市>上野小学校

<八尾市>亀井小学校

<松原市>天美南小学校、松原小学校

<羽曳野市>白鳥小学校放課後子ども教室、丹比小学校、埴生南小学校、西浦小学校、西浦東小学校、古市南小学校

<河南町>白木小学校

<千早赤坂村>赤坂小学校
 <枚方市>枚方第二小学校
 <和歌山市>宮北小学校
 <その他>大阪市シニア自然大学校鶴見風と緑の会

(7) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月24日(水)・25日(木)	奈良大学通信教育部学生	【29名】
7月30日(火)～8月3日(土)	博物館実習	【14大学・25名】
11月24日(日)	関西大学 博物館実習	【28名】
2月26日(水)	比治山大学 体験学習	【30名】

② 中学生・高校生の職場体験学習

中学生を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

7月6日(土)～9月1日(日)	大阪府立登美丘高校(2年生日本史B課題学習)	【262名】
7月26日(金)	大阪府立登美丘高校BYツアー	【16名】
8月21日(木)	大阪府立登美丘高校BYツアー	【12名】
7月20日(土)～8月31日(土)	大阪府立富田林高校(1年生課題学習)	【1名】
8月16日(金)	高校生のための博物館ツアー	【7名】
11月6日(水)、7日(木)、13日(水)、14日(木)	和泉市立信太中学校	【9名】
11月20日(水)、21日(木)	忠岡町忠岡中学校	【5名】
1月30日(火)、1月31日(水)	高石市立高南中学	【4名】
2月4日(火)～5日(水)	和泉市立郷荘中学校	【4名】
2月6日(火)～7日(水)	高石市立高石中学校	【5名】
2月25日(火)	和泉総合高校地歴部	【5名】

③ 教員等研修の受け入れ

教員等の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

8月7日(水)・8日(木)	大阪府高校教諭初任者研修	【4校・18名】
8月14日(水)	大阪府教育センター研修(カリナビ研修)	【10校・13名】
8月16日(金)	高校教員セミナー	【13校・17名】
8月23日(金)	小中教員セミナー	【17校・18名】

④ 子ども一日館長 12月23日(月祝) 泉大津市立楠小2名 任命式、講演会挨拶、BYツアー 【11名】

⑤ 弥生博小中学生フレッシュコンサート 1月25日(土)

泉大津市立条南小学校(音楽クラブ)	和泉市立郷荘中学校合唱部&演劇部	【140名】
-------------------	------------------	--------

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

- ① 大阪府立狭山池博物館 【入館者数:11,171名】
 ア. 開催期間 4月27日(土)～5月26日(日)
 イ. 内 容 「弥生人のなりわい」
- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 【入館者数:13,981名】
 ア. 開催期間 4月1日(月)～3月31日(月)
 イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 【入館者数:56,287名】
 ア. 開催期間 4月1日(月)～3月31日(月)
 イ. 内 容 当館所蔵の資料を展示
- ④ 大阪府立中央図書館
 ア. 開催期間 9月10日(火)～9月29日(日)
 イ. 内 容 「卑弥呼御膳と卑弥呼の衣装」「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」
- ⑤ 高石市立図書館 【入館者数:6,493名】
 ア. 開催期間 11月2日(土)～12月23日(月祝)
 イ. 内 容 「茅渟の海の生業」展：卑弥呼御膳
- ⑥ 堺市立泉北すえむら資料館 【入館者数:2,273名】
 ア. 開催期間 1月15日(水)～3月16日(日)
 イ. 内 容 「茅渟の海の生業」展

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

- ① 子育てコミュニティールーム コトコトステージ 【参加者数:13名】
 ア. 開催日 5月3日(金)
 イ. 内 容 「博物館へ行こう!親子おたのしみ銅鐸色塗り体験会」
 ウ. 連携先 西宮阪急百貨店
- ② ふれあいまつり2013 【参加者数:81名】
 ア. 開催日 5月5日(日)
 イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
 ウ. 連携先 池上曾根弥生学習館
- ③ 御堂筋 Kappo 2013 【参加者数:212名】
 ア. 開催日 5月12日(日)
 イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
- ④ きしわだ自然資料館出張WS 【参加者数:6名】
 ア. 開催日 6月16日(日)
 イ. 内 容 「鏡をつくろう」
 ウ. 連携先 きしわだ自然資料館
- ⑤ 子育てコミュニティールーム コトコトステージ 【参加者数:1,500名】
 ア. 開催日 8月10日(土)
 イ. 内 容 紙芝居「やよいちゃんのふくづくり」&織物体験
 ウ. 連携先 西宮阪急
- ⑥ 関西・考古学の日スタンプラリー
 ア. 開催日 9月1日(日)～10月31日(木)

- イ. 内 容 大阪府立弥生文化博物館スタンプの押印
ウ. 提携先 全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西・考古学の日」実行委員会
- ⑦ 大阪府愛護推進委員会研修 【参加者数：182名】
ア. 開催日 9月6日（金）
イ. 内 容 研修
ウ. 提携先 大阪府教育委員会文化財保護課
- ⑧ 卑弥呼優秀作品展
ア. 開催日 9月10日（火）～9月30日（日）
イ. 内 容 「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」
ウ. 提携先 大阪府立中央図書館
- ⑨ 卑弥呼優秀作品展関連 WS
ア. 開催日 9月14日（土）・9月21日（土）
イ. 内 容 土器・銅鐸パズル
ウ. 提携先 大阪府立中央図書館
- ⑩ まなぼスタジオ
ア. 開催日 9月15日（日）
イ. 内 容 「ハルカむかしふうにお便りしましょう！」
ウ. 提携先 あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ本部
- ⑪ 兵庫県立考古博物館 【参加者数：25名】
ア. 開催日 11月2日（土）
イ. 内 容 古代体験秋まつり「銅鐸をつくろう」
- ⑫ 音★楽市 【参加者数：95名】
ア. 開催日 9月29日（日）、11月2日（土）
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会
- ⑬ いずみのJA農業まつり 【参加者数：130名】
ア. 開催日 11月17日（日）
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 JAいずみの
- ⑭ 2013和泉市歴史ウォーク 【参加者数：50名】
ア. 開催日 11月23日（土祝）
イ. 内 容 池上曾根遺跡発掘調査特別公開&博物館見学
ウ. 提携先 和泉市教育委員会
- ⑮ 高校生軽音フェスタ in 弥生の杜 【参加者数：91名】
ア. 開催日 10月13日（土）、10月14日（日）
イ. 内 容 「土器・銅鐸パズル」
ウ. 提携先 和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会
- ⑯ 「勉強ワクワク」フォーラム 【参加者数：213名】
ア. 開催日 1月23日（木）
イ. 内 容 実演ブース展示
ウ. 提携先 大阪府教育委員会地域教育振興課

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① 高槻市立今城塚古代歴史館
4月13日(土)今城塚古代歴史館春季特別展 三島弥生文化の黎明「新しい弥生像と集落」
当館副館長 秋山浩三 【参加者数：105名】
- ② 桃山学院大学「インテグレーション科目：図書館・博物館への誘い」
6月26日(水)「博物館の現実－考古学博物館の視点から－」
当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数：53名】
- ③ あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ
7月6日(土)「縄文時代って？縄文土器の模様をつくってみよう」 【参加者数：15名】
7月21日(日)「つくる・まなぶ・あそぶ 江戸時代のこどもの遊び」 【参加者数：10名】
- ④ 関西大学なんども相談会
7月28日(日)「狩人きぶん」 【参加者数：871名】
- ⑤ 大阪府高齢者大学
8月1日(木)「池上曾根遺跡」 当館副館長 秋山浩三 【参加者数：67名】
1月15日(水)「古代から学ぶ①古代の食を考える」当館学芸員 柴田妃三光 【参加者数：45名】
- ⑥ 近鉄文化サロン阿倍野
8月29日(木)「考古学からみる古代の生活 古代の船」 【参加者数：63名】
当館総括学芸員 塚本浩司
12月19日(木)「考古学から見る古代の生活 死と再生のデザイン」 【参加者数：65名】
当館総括学芸員 中尾智行
2月20日(木)「考古学から見る古代の生活 産屋の風景」 【参加者数：56名】
当館館長 黒崎 直
3月20日(木)「考古学から見る古代の生活 性交合の考古学」 【参加者数：58名】
当館副館長 秋山浩三
- ⑦ かなえ会(市民交流センターすみよし北2013)
9月12日(木)「大阪府立弥生文化博物館が語る大阪の弥生時代」 【参加者数：26名】
当館副館長 秋山浩三
- ⑧ 大阪府高圧ガス保安大会
10月27日(火)「日本古代のトイレ事情」 当館館長 黒崎 直 【参加者数：300名】
- ⑨ 計量史をつくる会
11月29日(金)「弥生分銅の発見とその意義」当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：60名】
- ⑩ 出かける博物館講座
12月19日(木)「考古学から見る古代の生活 死と再生のデザイン」 【参加者数：65名】
当館総括学芸員 中尾智行
2月20日(木)「考古学から見る古代の生活 産屋の風景」当館館長 黒崎 直【参加者数：56名】
3月20日(木)「考古学から見る古代の生活 性交合の考古学」 【参加者数：58名】
当館副館長 秋山浩三

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連

以外にもワークショップ等を行った。

- ① ゴールデンウィーク特別企画 Let's TRY
- 5月3日(金祝)「犬の土形をつくろう」 【参加者数:60名】
「土器パズル・銅鐸パズル」 【参加者数:103名】
 - 5月4日(土祝)「カブトをつくろう」 【参加者数:42名】
「あしあとをくらべてみよう」 【参加者数:27名】
 - 5月5日(日祝)「こいのぼりをつくろう」 【参加者数:88名】
 - 5月6日(月振)「犬の土人形をつくろう」 【参加者数:72名】
「弥生ツアー」 【参加者数:47名】
- ② 大阪伝統工芸 和泉蜻蛉玉
- 8月20日(土)「和泉蜻蛉玉でアクセサリを作ろう！」 【参加者数:195名】
- ③ 夏休みイベント「弥生の日」 8月20日(火)、24日(土)、25日(日) 【参加者数計:718名】
- 8月20日(火)「弥生クエスト！」 【参加者数:100名】
「アナタも弥生人！」 【参加者数:80名】
 - 8月24日(土)「弥生クエスト！」 【参加者数:120名】
「アナタも弥生人！」 【参加者数:111名】
 - 8月25日(日)「弥生クエスト！」 【参加者数:50名】
「アナタも弥生人！」 【参加者数:31名】
- ④ ミニギャラリーWS
- 10月25日(金)「エッグアートのリングケースを作りましょう」 【参加者数:12名】
- ⑤ 関西文化の日ワークショップ
- 11月16日(土)「竪穴住居をたてよう！」 【参加者数:50名】
「海渡くんをさがせ！」 【参加者数:56名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:68名】
 - 11月17日(日)「消しゴムと粘土でつくっちゃおう弥生人のかお」 【参加者数:134名】
「竪穴住居をたてよう！」 【参加者数:101名】
「海渡くんはどこ!？」 【参加者数:163名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:119名】
「棒ばかりをつくろう」大阪府計量検定所との連携 【参加者数:51名】
「計量クイズ」大阪府計量検定所との連携 【参加者数:134名】
「家庭用計量器無料診断」大阪府計量検定所との連携 【参加者数:7名】
「健康器具体験」大阪府計量検定所との連携 【参加者数:45名】
- ⑥ 冬休み Let's TRY
- 12月21日(土)「花のビリキャラトリオと写真を撮ろう！」
「花のしおりをつくろう！」 【参加者数:85名】
「海渡くんをさがせ！」 【参加者数:65名】
「弥生家族と写真撮影」
 - 12月22日(日)「分銅消しゴムをつくろう!!」 【参加者数:138名】
「やぁ!ヤァ!弓矢体験」 【参加者数:421名】
「土器・銅鐸パズルに挑戦!!」 【参加者数:68名】
「海渡くんをさがせ！」 【参加者数:106名】
「弥生家族と写真撮影」

- 12月23日(月祝)「弥生の道具で貼り絵をしよう!!」 【参加者数:34名】
「土器・銅鐸パズルに挑戦!!」 【参加者数:45名】
「のぞいてみよう!博物館の宝べや!」 【2回・参加者数:59名】
「海渡くんをさがせ!」 【参加者数:81名】
「弥生家族と写真撮影」
- ⑦ 館内体験
- 8月10日(土)・8月24日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:124名】
9月14日(日)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:14名】
10月26日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:14名】
11月16日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:68名】
11月17日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:119名】
11月23日(土祝)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:6名】
12月14日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:14名】
12月21日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:45名】
1月11日(土)・1月25日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:3名】
2月8日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:15名】
2月22日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:2名】
3月22日(土)「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:14名】
- ⑧ ナイトミュージアム
- 3月8日(土) 映画「ナイトミュージアム」鑑賞&ナイトツアー 【参加者数:47名】
- ⑨ 弥生フェスティバル
- 3月25日(火)「化石のおはなしとレプリカづくり」きしわだ自然資料館 【参加者数:48名】
「仮面消しゴムをつくろう」 【参加者数:151名】
「竪穴住居をたてよう」 【参加者数:105名】
「オリジナル布バックをつくろう」 【参加者数:63名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:57名】
「卑弥呼からの指令書」 【参加者数:331名】
「コダイくん&ロマンちゃんがやってきた」一着ぐるみ登場—
- 3月26日(水)「勾玉ペンダント勾玉ストラップづくり」大阪府立近つ飛鳥博物館 【参加者数:68名】
「やあ!ヤア!弓矢体験」 【参加者数:477名】
「弥生の道具ではり絵をしよう」 【参加者数:61名】
「見てみよう!博物館の宝べやツアー」 【参加者数:68名】
「海渡君はどこ?」 【参加者数:201名】
- 3月27日(木)「ガラス玉ブレスレットづくり」 【参加者数:103名】
「花のしおりをつくろ」 【参加者数:170名】
「竪穴住居をつくろ」 【参加者数:76名】
「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:60名】
「卑弥呼からの指令書」 【参加者数:319名】
「ハニワ皇帝がやってきた」一着ぐるみ登場—
「フルルがやってきた」一着ぐるみ登場—
- 3月28日(金)「やりたい放題!!むかしのアクセサリーづくり(ストロー管玉・組ひもでミサンガ)」

泉南市立埋蔵文化財センター	【参加者数:301名】
「粘土 de 文様」	【参加者数:120名】
「見てみよう！博物館の宝ベヤツアー」	【参加者数:56名】
「火おこし体験」	【参加者数:149名】
「海渡君はどこ？」	【参加者数:384名】
3月29日(土)「風呂敷でペットボトルを包んでみよう」小谷城郷土館	【参加者数:45名】
「ヒモの結び方あれこれ」小谷城郷土館	【参加者数:178名】
「貝がら細工をつくってみよう！」和歌山県立自然博物館	【参加者数:116名】
「オリジナルペーパークラフトをつくってみよう！」和歌山県立自然博物館	【参加者数:291名】
「魚の骨格標本作成デモンストレーション」ー標本陳列ー和歌山県立自然博物館	
「勾玉をつくろう！！」	【参加者数:133名】
「土器・銅鐸パズル」	【参加者数:53名】
「卑弥呼からの指令書」	【参加者数:272名】
「仮面消しゴムをつくろう	【参加者数:119名】
「おづみんながやってきた」ー着ぐるみ登場ー	
3月30日(日)「オリジナル布バックをつくろう」	【参加者数:41名】
「海渡君はどこ？」	【参加者数:114名】
3月25日(火)～3月30日(日)「考古学屋台村」、「竪穴住居で写真撮影」	

(2) こどもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽！2013」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

5月18日(土)「弥生のこめつき体験」	【参加者数:30名】
8月17日(土)「火おこし」	【参加者数:25名】
9月21日(土)「土器に触れてみよう」	【参加者数:19名】
10月19日(土)「弥生の米つき体験」	【参加者数:16名】
11月16日(土)「石器を使ってみよう」	【参加者数:64名】
12月21日(土)「弥生の火おこし体験」	【参加者数:85名】
1月18日(土)「弥生の弓矢体験」	【参加者数:29名】
2月15日(土)「土器に触れてみよう」	【参加者数:9名】
3月15日(土)「火おこし体験」	【参加者数:17名】

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間	平成25年3月26日(火)～31日(日) 6日間	【入館者数:5,515名】
イ. 入館料	無料	
ウ. イベント	前掲	

(2) 要覧の作成

『平成 24 年度弥生文化博物館要覧』（平成 26 年 3 月 29 日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介した A 4 三つ折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8種）を用意し、ホームページからダウンロードできるようにして利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7種）及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

また、今年度、初めてマンガによる当館の展示物紹介の解説シートを作成した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供を行った。【年間アクセス件数:276,671 件】

また、当館の展示物、催しを紹介する四コマ漫画をホームページブログで情報提供した。

9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。【資料 7 件・27 点／写真 59 件・158 点】

10. 研究事業

国内外の研究者との学術交流

5 月 10 日（金）弘前大学人文学部文化財論講座日本考古学研究室 准教授 上條信彦

- 弘前大学人文学部冷温帯遺跡資源活用プロジェクト 特任助教授 田中克典
- 6月 5日(金) 中央文化財研究院 院長 趙詳紀 他 16名
- 6月 12日(水) 中央文化財研究院 洪志潤 他 12名
- 6月 28日(金) 東洋大 文化財発掘保存科学科 教授 金度憲
- 7月 13日(土) 秤乃館 館長 秤屋健蔵
日本計量史学会 会長 内川恵三郎
- 7月 19日(金) College of Art&Design SEOUL National University Of Science&Technology
Young Jun KO User Friendly Desighn Labo Heung-Soon Youn
- 7月 23日(火) 高麗大 考古環境研究所 研究教授 藤田憲司
- 8月 9日(金) 國學院大 文学部 教授 青木 豊
- 9月 21日(土) 名古屋大 大学院研究科 教授 古尾谷知浩
- 9月 27日(金) 国立民族学博物館総合研究大学院大 教授 印東道子
- 10月 2日(水) 国士館大 21世紀アジア学部グローバルアジア日本研究センター
教授 沢田正昭
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所
所長 西村 康
- 10月 10日(木) 東海大 文学部歴史学科考古学専攻 教授 北條芳隆
- 10月 19日(土) 三江文化財研究所 蘇培慶
花園大 教授 高橋克壽
- 11月 16日(土) 国立歴史民俗博物館 名誉教授 春成秀爾
- 11月 24日(日) 京都橘大 文学部 教授 一瀬和夫
- 12月 13日(金) 福岡大 文学部 教授 武末純一
- 12月 14日(土) 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長 難波洋三
- 2月 23日(日) 島根県古代文化センター長 丹羽野裕

1 1. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

1 2. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイド(常設展示・特別展示)と英語版音声ガイド(常設展示)を用意し、無料で貸し出した。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ・ 第一展示室のプロジェクターランプユニットの導入
- ・ ホール事業（講演会等）のサロンへの情報提供用のデジタルビデオカメラの購入
- ・ 屋上防水機能充実のための屋上防水補修工事の実施
- ・ 第一展示室「卑弥呼の館」映写カメラ台の補修
- ・ 防犯カメラ録画用ハードディスクの老朽化によるその取替え
- ・ ワークショップ用ミニ銅鐸中子の修理

1 3. 自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

1 4. 入館者数及び入館料一覧表

区 分	入館者数（名）			入館料 （円）	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,610	9,876	11,486	331,960	49 日間
割合%	9.6	22.3	18.8		
春季企画展示	580	8,878	9,458	138,180	28 日間
割合%	3.5	20.0	15.5		
春季企画展	4,120	5,403	9,523	1,254,520	62 日間
割合%	24.6	12.2	15.6		
夏季特別展	2,861	4,262	7,123	1,119,040	55 日間
割合%	17.1	9.6	11.7		
秋季特別展	3,767	12,613	16,380	1,295,100	55 日間
割合%	22.6	28.5	26.8		
冬季企画展	3,767	3,287	7,054	818,680	54 日間
割合%	22.6	7.4	11.6		
合 計	16,705	44,319	61,024	4,957,480	303 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 24 年度実績			57,614	3,956,580	305 日間
平成 23 年度実績			63,223	4,555,000	307 日間



ガラス玉ブレスレットづくり



ナイトミュージアム



貫頭衣コンテスト



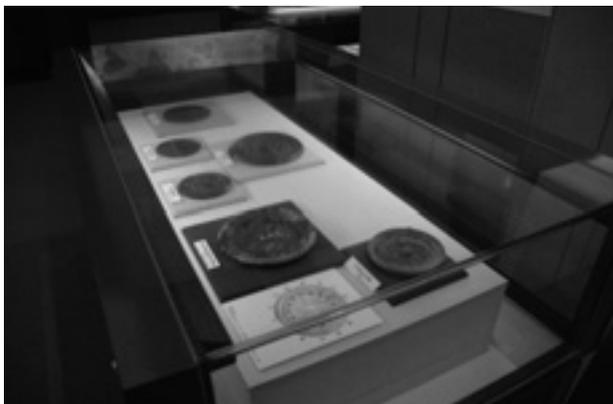
秋季特別展展示風景



出前授業



竪穴住居をたてよう



特別陳列展展示風景



木曜大学

VI 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」

【総入館者数 27,810 名・特展入館者数：10,132 名・展示室 178 名／日】

ア. 開催趣旨 大王墓と考えられる巨大古墳は、古墳時代の始まりである3世紀中葉以来、奈良盆地に築かれていましたが、前期末の4世紀後半以降には、大阪平野の百舌鳥・古市の地に築かれるようになります。大王墓の大阪への移動は、どのような背景によるものでしょうか。このことを考えるためには、百舌鳥・古市で大王墓が出現する前夜の様相を知ること、両古墳群が築かれる河内や和泉をはじめとする周辺地域の動態や、大和における大王墓のあり方、そして当時のヤマト王権がおかれていた国際的な状況を探ることが重要です。

今回の展覧会では、百舌鳥・古市古墳群における大王墓の出現がどのような背景によるのか、そして百舌鳥・古市古墳群を擁する地域やその周辺がどのような社会であったのかについて、考えたいと思います。

イ. 開催期間 平成25年4月27日(土)～6月30日(日) 【会期:57日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照

エ. 講演会等

春季特別展講演会

5月12日(日)「崇神天皇陵から応神天皇陵へ」 水野正好氏(奈良大学名誉教授) 【233名】

5月26日(日)「歴史学からみた4・5世紀における“大王墓古墳群”移動の背景
塚口義信氏(堺女子短期大学名誉学長) 【318名】

5月9日(日)「河内の4世紀史からみた政権交代」
岸本直文氏(大阪市立大学准教授) 【253名】

6月23日(日)「百舌鳥・古市古墳群出現前夜の畿内」 白石太一郎(当館館長) 【388名】

シンポジウム

6月2日(日)『古市古墳群出現前夜』 【268名】

「玉手山古墳群・松岡山古墳群の実像に迫る」

安村俊史氏(柏原市立歴史資料館)

「石川流域の前期古墳から見た古市古墳群出現前夜について」

河内一浩氏(羽曳野市教育委員会)

「古市古墳群の成立の契機—津堂城山古墳の被葬者をめぐって」

天野末喜氏(藤井寺市教育委員会)

討論司会/市村慎太郎(当館学芸員)

6月16日(日)『百舌鳥古墳群出現前夜』 【235名】

「大津川流域における百舌鳥古墳群出現前夜の首長間関係」 三好 玄氏 (大阪府教育委員会)

「久米田古墳群と摩湯山古墳」 南部裕樹氏 (奈良文化財研究所)

「百舌鳥古墳群における大王墓出現前夜」 十河良和 (堺市世界文化遺産推進室)

討論司会/森本 徹 (当館学芸課長)

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日: 6月29日(月・祝)、5月3日(金・祝)、5月6日(月・振)、5月18日(土)、

6月15日(土)、6月29日(土)

【6回:計206名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 6月1日(土)「玉手山古墳群を歩く」 【72名】

ク. 広 報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開 会 式 4月27日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

(2) 夏季企画展「さまざまなお墓ー墳墓のうつりかわりー」

【総入館者数13,514名・特展入館者数:4,504名・展示室87名/日】

ア. 開催趣旨 現代の墓地のなかには、古くから墳墓(お墓)が営まれているものがあり、発掘調査によって、縄文時代から近世までのたくさんの墳墓がみつかっています。これらを見ていくと、時代や地域によって、死者を葬る方法や場所、墳墓のつくり方はさまざまであったことがわかります。

この企画展では、死者はどのように葬られてきたのか、墳墓がどこで、どのように造られたのか、墳墓は当時の人の目にどのように映ったのかといった問題をとりあげ、さまざまな墳墓を紹介し、そのあり方について考えたいと思います。

イ. 開催期間 平成25年7月20日(土)～9月16日(月・祝) 【会期:52日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 小冊子の詳細は9(6)参照

エ. 講演会・体験学習

展示に即した講演会、報告会を実施。小・中学生を対象とした勾玉づくりなど体験学習を実施した。

8月4日(日)「近世の大名墓について」白石太一郎(当館館長) 【74名】

8月25日(日)調査報告会「墳墓研究最前線!」 【101名】

西村 歩(当館副館長)・信田真美世・川瀬貴子(公益財団法人大阪府文化財センター)

9月1日(日)「中世の墓地と石塔」

狭川真一氏((公財)元興寺文化財研究所研究部長) 【54名】

9月15日(日)「中近世～近代の村落墓地ー奈良盆地の郷墓を中心に」

白石太一郎(当館館長) 【85名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日: 7月28日(日)、8月3日(土)、8月31日(土)、9月7日(土) 【7回:計92名】

また、こどもむけに「怖くないお墓の話」と題した展示解説を実施した。

実施日: 8月13日(火)、8月14日(水)、8月15日(木)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター、リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

(3) 秋季特別展「考古学からみた推古朝」

【総入館者数 20,605 名・特展入館者数：7,532 名・展示室 132 名/日】

ア. 開催趣旨 推古天皇の時代、難波より京に至る「大道」が設置されたとする記事を『日本書紀』は伝えます。本年はこの「大道」設置から 1400 年にあたります。

この時代は、遣隋使の派遣等により海外の文物が積極的に摂取され、また仏教の普及が進められ、政治体制や思想が大きく刷新された一大画期として知られています。その一方で、前方後円墳の築造が止み、大形方墳・円墳が営まれはじめるという重要な変化が生じています。さらに畿内地域において道路や池の造営などの大規模開発が次々と実施されたこともこの時代を特色付けます。まさに次代に成立する律令国家の礎が築かれた時代であったといえましょう。

本展覧会では、推古天皇や聖徳太子が活躍した時代に焦点を当て、政治・社会・文化など様々な側面における変化とその背景について、考古資料から考えます。

イ. 開催期間 平成 25 年 10 月 5 日（土）～ 12 月 8 日（日） 【会期：57 日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は 9（6）参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

秋季特別展講演会

10 月 13 日（日）「推古朝の時代の仏教信仰と寺院建築」水野正好氏（奈良大学名誉教授）

【191 名】

10 月 27 日（日）「推古朝の政治と外交」東野治之氏（奈良大学教授）

【180 名】

11 月 10 日（日）「推古朝における古墳の様相」猪熊兼勝氏（京都橘大学名誉教授）

【151 名】

11 月 24 日（日）「考古学からみた推古朝」白石太一郎（当館館長）

【246 名】

シンポジウム

10 月 20 日（日）『前方後円墳の終焉からみた推古朝』

【178 名】

「摂津・河内における前方後円墳の終焉」森本 徹（当館学芸課長）

「大和における前方後円墳の終焉」千賀 久氏（葛城氏歴史博物館館長）

「東国における前方後円墳の終焉」

右島和夫氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財事業団理事）

討論司会／白石太一郎（当館館長）

11 月 17 日（日）『推古朝の初期寺院を探る』

【133 名】

「河内における推古朝の寺院」上田 睦氏（藤井寺市教育委員会 課長代理）

「摂津における推古朝の寺院」網 伸也氏（近畿大学准教授）

「東アジアからみた推古朝の寺院」清水昭博氏（帝塚山大学准教授）

討論司会／関本優美子（当館学芸員）

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。

実施日：10 月 6 日（日）、10 月 19 日（土）、11 月 2 日（土）、11 月 16 日（土）、

11 月 30 日（土）、12 月 7 日（土）

【6 回：計 122 名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. れきしウォーク 特別展にそった館外での遺跡見学会を実施した。

11 月 4 日（月・振）「大和飛鳥に推古朝を求めて」

【44 名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いた PR やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資

した。

ケ. 開会式 10月5日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

(4) 冬季特別展「歴史発掘 おおさか2013—大阪府発掘調査最新情報—」

【総入館者数 22,879名・特展入館者数：5,121名・展示室 91名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。こうした最新の発掘調査成果から遺跡を身近に感じとり、また、出土品を通して当時の生活や社会について探り、私たちの街、大阪の魅力を再発見していただきたいと思います。

今回、大阪府内の最新発掘調査の成果を府民に広く知ってもらう機会とし、大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきたいと思います。

イ. 開催期間 平成26年1月25日(土)～4月6日(日) 【会期：56日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は9(6)参照

エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

冬季特別展講演会

2月11日(火・祝)「津堂城山古墳が提起する問題」白石太一郎(当館館長) 【196名】

2月23日(日)「輝く大阪古代史—新発見文物の華—」水野正好(奈良大学名誉教授)【98名】

冬季特別展調査報告会

2月22日(土) 【33名】

3月16日(日) 【43名】

3月22日(土) 【58名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。

1月26日(日)、2月9日(日)、2月16日(日)、3月9日(日)、3月21日(金・祝)

【5回：計57名】

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

3. 「市町村と連携する博物館」事業

(1) 連携展示事業

地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催・後援の協力を得た。また、冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

春季特別展 主催：本館、文化庁、朝日新聞社、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

夏季企画展 主催：本館、公益財団法人元興寺文化財研究所

後援：堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、

富田林市、富田林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

秋季特別展 主催：本館、産経新聞社

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

冬季特別展 主催：本館

後援：太子町・太子町教育委員会、河南町・河南町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

(2) スポット展示

大阪府内における発掘調査最新成果の展示公開を当財団の協力を得て実施した。

【1回24日：計2,775名】

3月4日（火）～4月6日（日）「難波宮跡出土 柱材の年代—新たな年代測定法の誕生」

【24日：2,775名・116名／日（平成25年度）】

(3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

「入門講座」は、昨年度に続き、常設展示の各コーナーに特化した解説を展示室にて行い、より多くの来館者に参加していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。大阪府教育委員会、当財団、府内市町村と連携した事業。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』—常設展示解説—」

毎月第2土曜日を基本とし、常設展示室内の各コーナーにて当館学芸員が一般展示解説を行った。目標通り計10回を実施した。 【10回：計162名】

第65回 5月11日（土）「竪穴式石室の時代」ほか

第66回 6月8日（土）「横穴室石室の世界」ほか

第67回 7月13日（土）「埴輪の世界」

第68回 8月10日（土）「古墳の終わりと墓」ほか

第69回 9月14日（土）「一須賀古墳群を歩こう探ろう」

第70回 10月12日（土）「大古墳の造営」

第71回 11月9日（土）「開発と技術」ほか

第72回 12月14日（土）「仏教文化の開花」ほか

第73回 2月8日（土）「現代科学」ほか

第74回 3月8日（土）「竪穴式石室の時代」ほか

イ. 土曜講座毎月第4土曜日を基本とし、目標通り計10回を実施した。

【10回：計314名】

- 第55回 5月25日(土)「古墳時代前期の腕輪形石製品」 関本優美子(当館学芸員)
- 第56回 6月22日(土)「百舌鳥・古市古墳群出現前夜の土師器」 市村慎太郎(当館学芸員)
- 第57回 7月27日(土)「諸目遺跡」 河本純一氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- 第58回 8月24日(土)「夏季企画展をもっと知るには!」 鈴 千夏(当館学芸員)
- 第59回 9月28日(土)「高槻市成合遺跡の発掘調査」
笹栗 拓氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
- 第60回 10月26日(土)「方墳・円墳・八角墳」 関本優美子(当館学芸員)
- 第61回 11月23日(土)「大規模開発からみた推古朝」 飯田浩光(当館学芸員)
- 第62回 1月25日(土)「古墳時代の港と王権」 森本 徹(当館学芸員)
- 第63回 2月22日(土)「冬季特別展調査報告会①」
島崎久恵氏(公益財団法人大阪府文化財センター)
清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館)
濱田延充氏(寝屋川市教育委員会)
- 第64回 3月22日(土)「冬季特別展調査報告会③」
坪田真一氏(公益財団法人八尾市文化財調査研究会)
井戸竜太氏(公益財団法人枚方市文化財研究調査会)
石田成年氏(柏原市教育委員会)

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(木・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【629名】

(3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

4月29日(月・祝) 藤井寺工科高校・阪南大学高校・初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・
藤井寺高校・金剛高校・河南高校・上宮太子高校 【9校:550名】

11月3日(日) 藤井寺工科高校・藤井寺高校・阪南大学高校・初芝富田林高校・長野高校・富
田林高校・金剛高校 【7校:310名】

(4) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。従来、小中学生およびその保護者を対象としていたが、今年度より成人のみの参加も受け付けることとした。

5月 4日(土・祝) 【36名】
7月21日(日) 【23名】
8月 4日(日) 【14名】
8月11日(日) 【15名】
8月17日(土) 【19名】

12月 1日(日) 【14名】

12月 15日(日) 【5名】

(5) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

5月5日(日・祝) 【27名】

(6) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【16回：計：92,456名】

4月26日(金)～5月14日(火)「第5回ふるさと俳画展」

5月18日(土)～6月16日(日)「作品展・第3回 To You 通友2013」

6月18日(火)～6月23日(日)「第14回 全日本写真連盟かなん支部写真展」

6月29日(土)～7月31日(水)「PECHU十年の歴史展」

8月 3日(土)～9月 1日(日)「2013年夏休み 児童はにわ展」(8月4日表彰式)

9月 6日(金)～9月22日(日)「写真展 想いのままに…」

9月25日(水)～10月 6日(日)「難波から飛鳥を結ぶ古代道路」

10月 8日(火)～10月20日(日)「卵テンペラで描いた昆虫標本展」

10月22日(火)～11月16日(土)「三田崇博 世界遺産写真展 North America 2013
ラストフロンティア」

11月19日(火)～11月24日(日)「MOA美術館南河内児童作品展」

11月26日(火)～12月 8日(日)「よつばの会 油画作品展」

1月18日(土)～1月31日(金)「ふるさと太子再発見絵画コンクール」作品展

2月 4日(火)～2月16日(日)「花形書道展」

2月20日(木)～3月 2日(日)「ささゆりの会 日本画展」

3月 6日(木)～3月16日(日)「飛鳥の土で遊ぼう！」作品展

3月21日(金・祝)～4月13日(日)「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展

(7) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・春季特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・入門講座・土曜講座・講演会・河内飛鳥れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。 【登録24名：協力延べ人数118名】

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

小・中学校【19件：1,557名】 高校・大学【8件：338名】

(2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促す近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(3) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。 【16,260枚】

(4) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【16件：計397名】

5月14日(火) 奈良大学 文学部 文化財学科 植野研究室 研修

6月1日(土) 大阪大谷大学 文化財学科 研修

7月16日(火) 大阪芸術大学 放送学科 中継実習

7月17日(水) 大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科 多様な文化が伝播された古代の成り立ち

7月23日(火) 大阪府立金剛高校「職業人インタビュー」

7月24・25日(水・木) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」1

7月26日(金) 奈良大学 通信教育部 博物館実習受入れ

8月10日(土) 専修大学(東京) 考古学ゼミ

10月3日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、緑地環境学科
近つ飛鳥風土記の丘樹木実習

10月6日(日) 奈良大学 通信教育講座

10月14日(日) 奈良大学 通信教育講座

10月17日(木) 和光高校(埼玉) 考古学実習

11月3日(土) 大阪教育大学 現地講義

12月1日(日) 大手前大学 博物館実習

2月15日(土) 大阪教育大学 わくわくアートの時間

2月27日(木) 比治山大学 日本語文化研修

(5) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。 【6件：計35名】

11月6日(水)～8日(金) 太子町立中学校 職業体験

11月7日(木)～8日(金) 富田林市立喜志中学校 職業体験

11月12日(水)～13日(木) 富田林市立第三中学校 職業体験

11月12日(火) 河南中学校 職業体験

12月3日(火)～3日(水) 富田林市立第一中学校 職業体験

2月6日(木)～7日(金) 河内長野市立千代田中学校 職業体験

(6) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。 【2件:計12名】

7月30日(月)～31日(火) 教職員新任研修

8月23日(金) 教職員自主研修

(7) 一日館長の選定

8月4日実施。地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。河南町立近つ飛鳥小学校6年生徒2名が就任。白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(8) 地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用してもらった。冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。

(9) 2013 夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った11校の埴輪づくりの作品展を実施した(8月3日～9月1日)。8月4日に表彰式を行い、優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を贈呈した。 【7,267名】

6. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。特別展関連行事に加え、単独の古墳めぐりを新設。

6月1日(土)「玉手山古墳群を歩く」 【参加人数:72名】

11月4日(月・祝)「大和飛鳥に推古朝を求めて」 【参加人数:44名】

12月15日(日)「淡輪の古墳をめぐる」 【参加人数:18名】

3月9日(日)「茨木西部の古墳をめぐる」 【参加人数:28名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座(当館学芸員)

5月12日(日) 枚方市立樟葉生涯学習市民センター 枚方古代史友会5月研修会
「群集墳の出現と渡来人」 森本 徹 【25名】

6月1日(土) 八尾市立しおんじやま古墳学習館 しおんじやま学び場
「群集墳と古墳時代の終焉」 森本 徹 【26名】

- 7月 6日(土) 本の学校(米子市) むきばんだ弥生塾
「弥生水田から古墳時代の始まりを考える」森本 徹 【40名】
- 8月 8日(木) 大阪市立市民交流センターすみよし北
「近つ飛鳥博物館が語る大阪の古墳時代」市村慎太郎 【23名】
- 8月 9日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「古墳時代の喪葬儀礼」森本 徹 【63名】
- 8月23日(金) 堺市立女性センター 堺自由の泉大学
「火葬墓の出現と高松塚古墳」森本 徹 【63名】
- 11月19日(火) まちライブラリー@大阪府立大学 ライブラリーカフェ
「博物館へ行こう」森本 徹 【10名】
- 11月23日(土) 飛鳥の宿 祝戸荘
「近つ飛鳥の後・終末期古墳ヤマト王権」森本 徹 【23名】
- 1月13日(月・祝) 弥生文化博物館
「泉州における古墳文化の受容」西村 歩 【201名】
- ②出張ワークショップ(公的機関・組織) 【12団体:計931名】
- 5月12日(日) 御堂筋 kappo2013「古代衣裳着用体験」
- 8月 6日(火) 史遊会 夏休みこども博物館 PART II「はにわ作り」
- 8月10日(土) 羽曳野市立生活文化情報センターこども考古学講座「4コマ古墳時代劇場」
- 8月11日(日) 羽曳野市立生活文化情報センターこども考古学講座「4コマ古墳時代劇場」
- 9月13日(金) 大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA 古代衣裳着用体験
- 10月 6日(日) 大宝まつり(地元自治会) 勾玉づくり
- 10月26日(土)「島本町放課後こども教室」勾玉づくり
- 11月 2日(土) 兵庫県立考古博物館「古代体験まつり」
三角縁神獣鏡のペンダントやキーホルダーをつくろう
- 12月22日(日) シティプラザ大阪「古代衣裳体験」
- 12月23日(月) 勾玉づくり体験イベント in ビックバン
- 2月 9日(日) 島本町人権文化センター「勾玉づくり」
- 3月15日(土) せんなんカンヴァス 古代衣裳体験コーナー
- 3月26日(水) 弥生フェスティバル「マッピング勾玉をつくろう」
- ③出張ワークショップ(民間)
- 5月 6日(月) 西宮阪急 コトコトステージ「勾玉づくり」 【3名】
- 8月12日(月) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」 【22名】
- 8月17日(土) アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」 【48名】
- 8月18日(日) アベノ近鉄「ハニワ貯金箱をつくろう」 【49名】
- ④でかける博物館講演会 in りそな銀行本店 【510名】
- 9月 8日(日)『大阪が古代史で果たした役割を考える
—推古二十一年難波～飛鳥間大道設置 1400年にちなんで』
「難波から大和への古道」和田 萃氏(京都教育大学名誉教授)
「国土開発の時代—推古朝の再評価—」白石太一郎(当館館長)
討論「難波～飛鳥間大道設置の歴史的意味」司会:笠井敏光氏(大阪国際大学教授)
- ⑤でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活』(近鉄文化サロン共催)

- 6月20日(木)「渡来人の生活文化と王権」森本 徹(当館総括学芸員) 【56名】
 9月19日(木)「古墳時代の家族―古墳合奏例から考える―」白石太一郎(当館館長) 【78名】
 11月21日(木)「邪馬台国時代の土器」西村 歩(当館副館長) 【59名】
 1月16日(木)「信仰と生活―古墳時代の神まつりを中心に―」飯田浩光(当館学芸員) 【64名】

(3) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。 【3件・計56,400名】

- 4月27日(土)～5月26日(日)大阪府立狭山池博物館「一須賀古墳群と近つ飛鳥博物館」 【12,010名】
 6月4日(火)～6月30日(日)大阪府立中央図書館「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録をめざして」 【43,923名】
 11月23日(土)大阪府文化財センター 大坂城跡発掘調査現地説明会 【467名】

(4) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

- 10月6日(日)大宝まつり(勾玉講習会) 【100名】
 10月19日(土)太子町時代まつり 【5,200名】
 10月27日(日)ぐるっとまつばら健康ウォーク 【900名】

(5) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

外部からの不正アクセスのため、7月～12月の間、サイトを閉鎖したが、セキュリティ対策を施し、1月より再開した。

再開後のアクセス数は2月5,978件、3月8,718件で、順調にのびている。 【HP更新74回】

7. 「体験する博物館」事業

(1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れ、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅(古墳時代の運搬具)の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリー(古墳めぐり)を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。 【47校・2,777名】

(2) 子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

- 8月18日(日) 【170名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

7月28日(日)	【48名】
8月3日(日)	【68名】
8月16日(金)	【76名】
8月25日(日)	【72名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

5月3日(金・祝) 古墳時代まつり 当館	【78名】
5月5日(日) 当館	【41名】
5月12日(日) 御堂筋かっぱ 2013 百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録推進協議会議 連携	【152名】
8月10日(土) 羽曳野市立生活文化情報センター	【6名】
8月11日(日) 羽曳野市立生活文化情報センター	【17名】
9月13日(金) 大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA	【45名】
10月19日(土) 太子町「時代まつり」	
10月27日(日) 「ぐるっとまつばら健康ウォーク」	
12月7日(土) 当館	【13名】
12月22日(日) シティプラザ大阪	【19名】
2月1日(土) 当館	【34名】
3月15日(土) せんなんカンヴァス 古代衣裳体験コーナー	【51名】
3月29日(土) 当館	【138名】
3月30日(日) 当館	【48名】

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものの製作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を実施した。 【12回:481名】

4月20日(土) 中国のお面作り	
5月18日(土) 変身コマ	
6月15日(土) 卵パックで七夕飾り	
7月20日(土) 夢のホーバークラフト	
8月18日(日) 夏休みこども工作室	
9月21日(土) オープンレンジで勾玉づくり	
10月19日(土) コロコロ転がし	
11月16日(土) 森のサンタクロース	
12月21日(土) 飛行機をつくって大空へ飛ばそう	
1月18日(土) プラバン遊び	

2月15日(土) 飛鳥の土であそぼう

3月15日(土) カタカタ忍者

8. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。またりそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。5(2)④参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

11月26日(火)～28日(木)国際交流サービス 北部九州考古の旅 【42名】

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol.39 9月30日発行 4,000部

博物館だより Vol.40 3月31日発行 4,000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。下記(6)参照。

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供22回、新聞雑誌広報等掲載回数181回】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。また、館報は研究

論文等を掲載しているところから、有償配布も実施した。

- ・「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 60
4月27日発行 1200円(960円※割引販売)
【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数1,385(38)冊(平成25年度)】
※販売数は定価販売・割引販売の合算、()内は割引販売数。以下同。
- ・「遺跡が語る墳墓の歴史」7月20日発行 200円
【広報1,400冊・販売600冊・販売数432(0)冊(平成25年度)】
- ・「考古学からみた日本の古代国家と古代文化」展示ガイドブック
9月30日発行 800円(640円)
【広報1,000冊・販売3,000冊・販売数547(32)冊(平成25年度)】
- ・「考古学からみた推古朝」大阪府立近つ飛鳥博物館図録 61
10月5日発行 1200円(960円)
【広報1,000冊・販売1,400冊・販売数972(23)冊(平成25年度)】
- ・『歴史発掘おおさか 2013』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 62
1月25日発行 600円(480円)
【広報1,000冊・販売700冊・販売数203(6)冊(平成25年度)】
- ・『大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 17』12月31日発行 500円
【広報800冊・販売200冊】

10. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動も努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者	【13名】
韓国研究者	【3名】

(3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座において、研究成果を掲載し、発表した。

(4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員2名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、講演会事業などでの助力を得た。

11. 資料調査収集製作事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

12. サービス事業

(1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日(4月30日)と8月の盆休暇中の月曜日(8月12日)を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

(3) 博物館グッズの販売、開発

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売、オリジナルグッズの開発に努めた。

(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する応対マナーの研修(公共サービス窓口における配慮マニュアル(内閣府障害者施策推進本部発行)に準拠)を実施した。

(5) 設備の更新

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

空調設備 AUC - 5 系統冷水弁取替修理を行った。

正面・屋上自動扉開閉装置取替修理を行った。

消化ポンプ吸水槽取替工事を行った。

省エネ対応空調機制御機器の交換を行った。

13. 入館者数及び入館料一覧表

(平成25年度)

区 分	入 館 者 数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日間)
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有 料	無 料	計	利用者数	総入館者数		
常設展	2,371	1,088	3,459	14,442	17,901	598,740	83
割合 (%)	14.1	7.8	11.2	20.1	17.4	9.6	
春季特別展 (4/27～6/30) <small>百舌鳥・古市古墳群出現前夜</small>	5,456	4,676	10,132	17,678	27,810	2,273,460	57
割合 (%)	32.5	33.5	33.0	24.6	27.1	36.3	
夏季企画展 (7/20～9/16) さまざまなお墓	2,666	1,838	4,504	9,010	13,514	844,560	52
割合 (%)	15.9	13.2	14.6	12.5	13.2	13.5	
秋季特別展 (10/5～12/8) <small>考古学からみた推古朝</small>	3,972	3,560	7,532	13,073	20,605	1,648,760	57
割合 (%)	23.7	25.5	24.5	18.2	20.1	26.3	
冬季特別展 (1/25～4/6) <small>歴史発掘おおさか 2013</small>	2,322	2,799	5,121	17,758	22,879	898,720	56
割合 (%)	13.8	20.0	16.7	24.7	22.3	14.3	
合計	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	
< 年度比較 >							
平成24年度実績	16,637	18,099	34,736	81,687	116,423	5,973,240	305
平成23年度実績	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304
平成22年度実績	20,262	14,908	35,170	68,432	103,602	7,172,400	306



開館 20 周年ポスター展



八尾市立しおんじやま古墳学習館連携 はにわ皇帝



夏休み児童はにわ展



こどもファーストデイ



でかける博物館講演会 in リそな銀行本店



れきしウォーク (淡輪古墳群)



古代衣装体験



出前授業

VII 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家 大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。また、「セミナーハウス」を設置している。

② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

③ 「むかしのくらし展示」稲作に関する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現している。石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

① 「春のてまり展」

ア. 開催概要

日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 平成25年4月7日(日)～4月21日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

② 「民家集落ペン画展」

ア. 開催概要

当館の民家を描いたペン画作品展。ペン画の技法についても紹介した。

イ. 開催期間 平成25年5月11日(土)～5月25日(土)

平成26年2月15日(土)～3月2日(日)

ウ. 場 所 堂島の米蔵

③ 「紙すき工房どんぶり作品展」

ア. 開催概要

障がい者と支援グループによる絵画と書の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成25年8月24日(土)～9月6日(金)

ウ. 場 所 南部の曲家

④ 「能・狂言面展」

ア. 開催概要

「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ.開催期間 平成25年11月9日(土)～11月24日(日)

ウ.場 所 堂島の米蔵

⑤「游心会展」

ア.開催概要

「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ.開催期間 平成25年11月23日(土)～12月1日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、大和十津川の民家

⑥「現代に生きる刀剣彫刻と彫金展」

ア.開催概要

美術刀剣彫刻と刀装具の製作者岩崎範光氏の作品を展示した。

イ.開催期間 平成26年3月8日(土)～3月23日(日)

ウ.場 所 堂島の米蔵

(3) 文化庁補助事業に関わる展示

①「親子書道教室 作品展」

ア.開催概要

「みんな伝統文化体験教室」の親子書道教室参加者の作品を展示した。

イ.開催期間 平成26年3月9日(日)～3月16日(日)

ウ.場 所 セミナーハウス

②「子ども絵画教室 作品展」

ア.開催概要

「みんな子ども絵画教室」参加者の作品を展示した。

イ.開催期間 平成26年3月2日(日)～3月9日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

(4) 企画展示

①「茅葺き民家とその風景写真展」

ア.開催概要

全国の茅葺き民家集落と茅葺き屋根のたたずまいを写真で紹介した。

イ.開催期間 平成25年9月21日(土)～10月20日(日)

ウ.場 所 セミナーハウス

②「椎葉の神楽面展」

ア.開催概要

椎葉村在住の彫師が製作した椎葉神楽で使われる面の展示を行った。

イ.開催期間 平成25年11月2日(土)～12月8日(日)

ウ.場 所 セミナーハウス

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月17日(水)～5月19日(日)	飛騨白川の民家前 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(水)～5月6日(月・祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6月30日(土) かざり：7月2日(火)～ 7月7日(日)	大和十津川の民家 縁側	体験参加 者10名
お盆飾り	8月13日(火)～8月16日(金)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9月18日(水)～9月23日(月・祝)	大和十津川の民家	
正月飾り	1月5日(日)～1月19日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月12日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 98食
桃の節句・雛飾り	2月15日(土)～3月16日(日)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4月14日(日)・21日(日)	館内竹林	博物館スタッフ 151名
むかしの遊び(万華鏡、 折り紙、コマ作り、竹馬)	5月3日(金)・4日(土・祝)・ 5日(日・祝)	館内広場 飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	竹山慶次 他 約200名
子ども民家探検	7月27日(土)	堂島の米蔵他	博物館スタッフ 3名
養蚕体験糸つむぎ	8月25日(日)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 15名
紙すき体験	8月24日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり25名
はたおり体験	11月8(金)・9(土)・10(日)	南部の曲家	かるがも広場 30名
みんかの餅つき	2月2日(日)	日向椎葉の 民家前	紅山多喜子 他 50名
土のクレヨン作り	3月23日(日)	南部の曲家	c i s e 40名
コマ遊び	4月6日～7月6日・9月7日 ～12月7日・2月22日～3月 29日の各土曜日31回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 827名
石臼体験	4月7日～6月23日・9月1日 ～12月15日・1月19日～3 月16日の各日曜日 29回実施	石臼コーナー	大坪 章 351名
わらぞうり作り	6月2日・16日・10月20・27 日・11月20・27日・3月9・23 日の各日曜日8回実施	南部の曲家他	山本捷子 他 各回5名 約40名

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。
文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

- ① 心に届く童話
ア.内 容 朗読企画「でくの工房」による童話と詩の朗読。
イ.実施日 5月25日(土)・6月16日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ② フォークコンサート
ア.内 容 フォークソング愛好会「バガボンズ」による演奏会。
イ.実施日 4月28日(日)、10月13日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ③ みんか朗読会
ア.内 容 「グループ雲」による昔話や時代物の朗読会。
イ.実施日 4月21日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ④ 弦楽四重奏コンサート
ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。
イ.実施日 4月14日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑤ 尺八・二胡・オカリナ演奏会
ア.内 容 「庄内オリーブクラブ」による演奏会。
イ.実施日 5月6日(月・祝)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑥ コカリナ演奏&民話
ア.内 容 「やまびこ」と「観覧車」によるコカリナ演奏と語り。
イ.実施日 5月18日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑦ むかし話を聞きましょう
ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。
イ.実施日 6月9日(日)・11月9日(土)・3月22日(土)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑧ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～
ア.内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。
イ.実施日 9月22日(日)
ウ.場 所 日向椎葉の民家
- ⑨ 落語で笑ろうて民家
ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。
イ.実施日 10月5日(土)
ウ.場 所 大和十津川の民家
- ⑩ こみんか・ゆるりカフェ
ア.内 容 能勢の民家を会場にしての一日 cafe。

イ.実施日 10月14日(月・祝)、11月4日(月・祝)

ウ.場 所 摂津能勢の民家

⑪ お茶会

ア.内 容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。

イ.実施日 4月6日(土)、20日、5月4日、18日、6月1日、15日、7月6日、20日、
9月7日、21日、10月5日、19日、11月2日、23日、12月7日、21日、
1月25日、2月22日、3月29日 計19回

ウ.場 所 北河内の茶室

⑫ その他有料貸部屋利用

ア.内 容 民家の貸部屋を行い、俳句会、撮影会等の目的での利用を促した。年間利用件数
95件。(利用料収入616,000円)

イ.場 所 大和十津川の民家他

(4) 特別企画事業

①「民家再生・移築相談会&左官体験教室」

ア.内 容 日本民家再生協会近畿地区と連携し、当館セミナーハウス及びその周辺を会場に、
民家の再生・移築に関する相談会等を開催した。(参加者数 56名)

イ.実施日 6月22日(土)～23日(日)

②「文楽ミニ公演」

ア.内 容 日向椎葉の民家を会場に、文楽のミニ公演を公益財団法人文楽協会との共催で開
催。演目は「伊達娘恋緋鹿子」。太夫、三味線、人形の三業の役割もわかりやす
く解説された。(参加者数 123名)

イ.実施日 7月10日(水)

③「民家集落わくわくワークまつり」

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRするため、ワークシ
ョップ、茅屋根葺き体験、民家のふるさと物産展、模擬店、アカペラコンサー
等を実施した。(当日入館者数 621名)

イ.実施日 10月26日(土)

④春の敬老フェア&民家で甘酒

ア.内 容 毎月15日に実施しているアクティブシニアの日(65歳以上入館料半額)を3
日間に拡大するとともに、ボランティアの協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉
裏端で甘酒のサービスを行った。(期間中シニア入館者79名、甘酒配布数130)

イ.実施日 平成26年3月14日(金)～3月16日(日)(甘酒の提供は15、16日のみ実施)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚き
ながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年(開館日毎日)

②民家特別公開

- ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。
- イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）
- ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

- ア.内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。
- イ.期 間 通年（開館日毎日）
- ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 連続講座

「民家集落セミナー」と題して、民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

- 第一回 「日本の住まいに記憶されたオクの観念」
講 師：森 隆男（関西大学教授）
開催日：平成 25 年 5 月 12 日（日）
- 第二回 「那覇の農連市場と世界のマーケット」
講 師：瀧端真理子（追手門学院大学教授）
開催日：平成 25 年 5 月 19 日（日）
- 第三回 「民俗学からみた『あの世』とは」
講 師：鳥越皓之（早稲田大学教授）
開催日：平成 25 年 6 月 1 日（土）
- 第四回 「日本の中の京町家」
講 師：大場 修（京都府立大学教授）
開催日：平成 25 年 6 月 15 日（土）
- 第五回 「ドイツの民家と町並み」
講 師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）
開催日：平成 25 年 6 月 30 日（日）

(4) 関連講座

「椎葉神楽」公演、企画展「椎葉の神楽面」と関連の講座を開催した。

「椎葉村の民俗」

- 講 師：野本寛一（近畿大学名誉教授）
開催日：平成 25 年 11 月 2 日（土）

(5) 民俗芸能公演 「椎葉神楽」

- ア.内 容 企画展「椎葉の神楽面」に関連し、宮崎県椎葉村に江戸時代から伝わる「椎葉神楽」（国指定重要無形民俗文化財）の公演を行った。
出 演／椎葉村尾前神楽保存会

イ.開催日 平成25年11月16日(土)～17日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

エ.観覧者 5公演 489名

(6) グリーンロハスフェスタ

ア.内 容 服部緑地5月祭事業に参加し、「グリーンロハスフェスタ」のワークショップブースに出展し、コマ作り・コマ遊びワークショップを実施した。

イ.開催日 平成25年5月26日(日)

ウ.場 所 服部緑地西中央広場

(7) 北大阪ミュージアムメッセ

ア.内 容 北大阪ミュージアムネットワークの会員として、みんなぽくで開催された北大阪ミュージアムメッセに参加し、パネル展示等を通して博物館の紹介に努めた。

イ.開催日 平成25年11月3日(日)～4日(月)

ウ.場 所 国立民族学博物館

(8) 大学連携ワークショップ

ア.内 容 関西大学文学部森隆男研究会と連携して、十津川の民家、能勢の民家の食生活に関するワークショップを「どんぐりキッチン」「まるかじり能勢のくらし」「ぼたもち作る!かきもち食べよ!」と題して実施した。

イ.開催日 平成25年10月20日(日)、平成26年1月26日(日)、3月23日(日)

ウ.場 所 大和十津川の民家、摂津能勢の民家

(9) ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」

ア.内 容 NPO法人シニア自然大学が主催するジュニア自然大学を当館を会場に開講し、子どもたちに自然環境学習の場を提供した。

イ.開催日 平成25年4月20日(土)～12月14日(日) 全30回

ウ.場 所 当館全域

4. 学校教育連携事業

(1) 大学博物館実習

ア.内 容 奈良大学通信教育部と関西学院大学の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ.期 間 平成25年7月27日(土)・28日(日)、10月26日(土)、11月16日(土)

ウ.受入人数 31名

(2) 中学生の職場体験学習

ア.内 容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期 間 平成25年10月29日(火)～31日(木)

ウ.受入人数 2名

(3) こども囲碁クラブ

ア.内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア 14 名が指導にあたった。

イ.期 間 平成 25 年 4 月 13 日(土)～平成 26 年 3 月 29 日(土)
第一週を除く土曜日 39 回実施

ウ.生徒数 50 名

(4) みんな伝統文化体験教室

ア.内 容 文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業として、近隣の小学生親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催した。

イ.期 間 平成 26 年 1 月 18 日(土)～3 月 16 日(日) 14 回実施

ウ.参加数 22 組 44 名

(5) むかしのくらし体験学習

ア.内 容 文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業として、小学 3 年生社会科「昔のくらし」・4 年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成 25 年 5 月 2 日(金)他 計 20 日

ウ.受 入 高槻市立富田小学校 3 年生 34 名他 計 20 校 1,635 名

(6) みんな子ども絵画教室

ア.内 容 文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業として、小学生を対象に、絵画を通じてより民家や自然風景に親しみと興味を深めてもらう目的で実施した。

イ.期 間 平成 26 年 1 月 26 日(日)～3 月 5 日(日) 6 回実施

ウ.参加数 19 名

(7) 豊中マチカネ先生塾

ア.内 容 豊中市教育委員会主催の教員を目指す大学生を対象とした研修講座の「校外学習・体験学習」演習を博物館を会場に実施。学芸員が指導した。

イ.期 間 平成 25 年 9 月 7 日(土)

ウ.参加数 18 名

5. ボランティア受入活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、62 名が活動した。(内 3 名が新規登録者)

6. 施設整備事業

(1) 大阪府指定有形文化財旧藤原家住宅（南部の曲家）保存修理工事

ア.内 容 昨年度からの 2 ヶ年度継続事業として行われ、今年度は、屋根の一部葺き替え及

び差し茅、耐震補強、建具修理、壁の補修等を行い工事を完了した。また、工事の完成を記念して、解説見学会を実施した。

イ. 工事期間 平成 25 年 4 月 1 日 (月)～9 月 15 日 (月)、見学会 9 月 27 日 (金)

(2) 国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事

ア. 内 容 各所の経年劣化が進行している合掌造り民家について、耐震診断調査を実施し、その結果に基づいて茅屋根棟廻り及び床板等の補修を実施した。工事は 2 カ年度事業で、平成 26 年度も継続される。

イ. 工事期間 平成 26 年 2 月 25 日 (火)～3 月 31 日 (月)

(3) 園路等の補修

ア. 内 容 能勢の民家から奄美大島の高倉へのスロープ及び高倉周辺の排水溝を整備した。また、越前敦賀民家へ向う階段を新設し、周辺の植栽を整備した。

イ. 工事期間 平成 25 年 6 月 9 日 (日)～7 月 25 日 (木)、11 月 26 日 (火)～12 月 15 日 (日)、平成 26 年 2 月 18 日 (火)～3 月 25 日 (火)

(4) 危険木の伐採

ア. 内 容 倒木による建物への被害及び入館者への危険性があった職員休憩室横のクロガネモチ、長屋門前のアベマキ、椎葉の民家裏のカシノキ、クヌギを伐採した。

イ. 工事期間 平成 25 年 10 月 18 日 (金)～22 日 (火)、12 月 15 日 (日)～25 日 (水)、平成 26 年 1 月 5 日 (日)～22 日 (水)

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内 (9 月～3 月)	8 月	15,000 部
春・夏の催し案内 (4 月～9 月)	3 月	15,000 部

(2) 外国人向け DVD 及びパンフレットの作成

外国人向けのプロモーションビデオ (DVD) と英語、中国語、韓国語表記のパンフレットを製作し府下の各施設に配布した。また、緑地公園駅前に 3ヶ国語表記の案内看板を設置し、外国人利用者の利便性を向上させた。(文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)

(3) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時回り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(4) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。
また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(5) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急行電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(6) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（実績・・・民家の案内210冊、民俗11冊）
また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. その他

全国の野外博物館の連絡協議会組織である、全国文化財集落施設協議会（野外博物館ネットワーク）の平成25年度例会を、当館において開催し、近年における野外博物館における課題などについて協議した。

開催日 平成25年12月4日（水）

10. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成 25 年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4月	4,045	1,371,800	25
5月	4,967	1,243,850	27
6月	2,414	599,600	26
7月	1,548	329,100	26
8月	1,311	285,550	27
9月	2,001	496,650	25
10月	4,483	926,750	27
11月	4,247	1,160,600	26
12月	1,389	331,200	22
1月	2,214	510,850	23
2月	3,161	629,950	24
3月	3,182	835,750	26
合計	34,962	8,721,650	304

※入館料は消費税込みで表示

<年度比較>

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
平成24年度	39,123	9,682,350	305
平成23年度	34,505	9,511,750	305
平成22年度	39,781	11,523,990	306



南部の曲家保存修理工事



左官教室



民家集落セミナー



文楽ミニ公演



宮沢賢治の童話語り



むかしのくらし体験学習（洗濯）



椎葉神楽



関大WSまるかじり能勢のくらし

事務所一覧



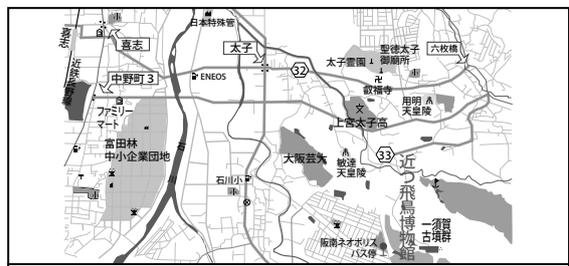
本部事務所 〒590-0105 堺市南区竹城台3丁21-4
 TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905
 南部調査事務所 TEL.072-284-2233 FAX.072-284-2234



大阪府立弥生文化博物館
 〒594-0083 和泉市池上町4丁目8-27
 TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



中部調査事務所 〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9-16
 TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515
 資料室 TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431



●アスカディア 古墳の森
大阪府立近つ飛鳥博物館
 〒585-0001 南河内郡河南町大字東山299
 TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325
<http://www.chikatsu-asuka.jp/>



むかしのおうちはくぶつかん
日本民家集落博物館
 〒561-0873 豊中市服部緑地1-2
 TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147
<http://www.occh.or.jp/minka/>

公益財団法人 大阪府文化財センター
年 報

平成25年度

発行日 平成27年12月25日 発行
発 行 公益財団法人大阪府文化財センター
〒590-0105 大阪府堺市南区竹城台3丁21番4号
TEL. 072-299-8791 FAX. 072-299-8905
印 刷 株式会社 中島弘文堂印刷所